プログラム

会長講演…… 24
特別講演 / Special Lecture …… 24
特別シンポジウム / Special Symposium …… 24
時実レクチャー…… 25
島薗レクチャー…… 26
奨励賞受賞記念講演…… 26
Jun Kimura レクチャー …… 26
コスミックコーポレーション
神経筋接合部疾患研究奨励賞　受賞記念講演…… 26
教育講演…… 27
シンポジウム…… 35
ワークショップ…… 47
サテライトシンポジウム…… 50
ハンズオンセミナー…… 55
ランチョンセミナー…… 57
一般演題（口演）…… 60
English Oral Session…… 75
一般演題（ポスター）…… 77
English Poster Session …… 95

第 56 回日本臨床神経生理学会学術大会

PL　会長講演　Live

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 10:40（第 1 会場）

座長：宇川 義一（NHO 福島病院 脳神経内科）

PL　私が歩んだ臨床神経生理学：不随意運動の病態から神経可塑性

花島 律子
鳥取大学医学部　脳神経内科学

SL1　特別講演 1　Live

11 月 12 日（木）　11:10 ～ 12:10（第 1 会場）

座長：花島 律子（鳥取大学医学部　脳神経内科学）

SL1　信頼されるニューロテクノロジーをつくる
―ロボット TMS の開発から、教育・エビデンス・制度づくりまで―

武見 充晃
広島大学　大学院先進理工系科学研究科

SL2　特別講演 2 / Special Lecture 2　EN　Live

13:30 ～ 14:30, November 12 (Thu.)（Room 1）

Chair：Ritsuko Hanajima（Department of Neurology, Division of Neuroscience, Faculty of Medicine, Tottori University, Tottori, Japan）

SL2　Transcranial Ultrasound Neuromodulation for Movement Disorders

Robert Chen
Professor of Medicine (Neurology), University of Toronto Senior Scientist, Krembil Research Institute, University Health Network Editor-in-Chief, Clinical Neurophysiology

SSY1　特別シンポジウム 1 / Special Symposium 1　EN　Live
Transcranial Ultrasound Stimulation: A Few New Aspects

15:50 ～ 17:20, November 12 (Thu.)（Room 1）

Chair：Takahiro Osada（Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan）
Yasuo Terao（Department of Medical Physiology, Kyorin University School of Medicine, Tokyo Japan）

SSY1-1　Recent advances in focused transcranial ultrasound stimulation

Yasuo Terao[1]、Ugawa Yoshikazu[2]
[1]Department of Medical Physiology, Kyorin University School of Medicine, Tokyo Japan
[2]Department of Systems Neuroscience, Fukushima Medical University School of Medicine (Life Sciences and Social Medicine), Fukushima, Japan

SSY1-2　Transcranial ultrasound stimulation for investigating cortical and subcortical circuits in humans

Takahiro Osada
Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan

SSY1-3　Human Neurophysiological Studies and Clinical Applications of Transcranial Ultrasound Stimulation

Satoko Koganemaru
Department of Rehabilitation Medicine, Osaka Medical and Pharmaceutical University, Osaka, Japan

SSY2　特別シンポジウム 2 / Special Symposium 2　EN Live
Real world wide-band EEG in epilepsy: interactive international discussion: 4 years of experience of international workshop

8:30 ～ 9:30, November 13 (Fri.)（Room 1）

Chair：Akio Ikeda（Epilepsy Center, Department of Neurology, Ijinkai Takeda General Hospital / Department of Neurology, Kyoto University School of Medicine, Kyoto, Japan）
Katsuya Kobayashi（Department of Neurology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan）

SSY2-1　How to progress from the clinical evidence to international clinical implementation

Akio Ikeda
Epilepsy Center, Department of Neurology, Ijinkai Takeda General Hospital / Department of Neurology, Kyoto University School of Medicine, Kyoto, Japan

SSY2-2　Real-world wide-band EEG in Epilepsy : four years of international experience, collaboration and interactive discussion

Aris Catur Bintoro
Kariadi Hospital / Diponegoro University, Semarang, Indonesia

SSY2-3　Real-world wide-band scalp EEG in pediatric epilepsy

Katsuhiro Kobayashi
Department of Child Neurology, Asahigawaso Rehabilitation and Medical Center, Okayama, Japan

時実レクチャー　Live

11 月 12 日（木）　10:40 ～ 11:10（第 1 会場）

座長：池田 昭夫（医仁会武田総合病院 脳神経内科てんかん診療センター）

神経と神経，神経と筋のあいだ

今井 富裕
国立病院機構箱根病院　脳神経内科

島薗レクチャー　Live

11 月 12 日（木）　10:00 ～ 10:30（第 1 会場）

座長：松本 理器（京都大学 臨床神経学）

脳神経情報処理の深淵：末梢受容器から高次脳機能まで

後藤 純信
国際医療福祉大学　医学部　生理学講座

奨励賞受賞記念講演 1　Live

11 月 12 日（木）　9:00 ～ 9:30（第 1 会場）

座長：金村 英秋（東邦大学医学部 小児科学講座（佐倉））

神経筋超音波をどう活かすか―電気生理学的検査との共同戦線

北國 圭一
帝京大学医学部脳神経内科

奨励賞受賞記念講演 2　Live

11 月 12 日（木）　9:30 ～ 10:00（第 1 会場）

座長：金村 英秋（東邦大学医学部 小児科学講座（佐倉））

神経筋電気生理学の展開：病態解析から新たな治療応用まで

大崎 裕亮[1,2]
[1] 徳島県立中央病院　脳神経内科
[2] 徳島大学大学院医歯薬学研究部

Jun Kimura レクチャー　Live

11 月 13 日（金）　10:40 ～ 11:10（第 1 会場）

座長：神 一敬（東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能学分野）

グローバルな視点で日本臨床神経生理学会を見る

中里 信和
一般財団法人広南会広南病院

コスミックコーポレーション神経筋接合部疾患研究奨励賞　受賞記念講演　Live

11 月 13 日（金）　11:10 ～ 11:25（第 1 会場）

座長：金村 英秋（東邦大学医学部 小児科学講座（佐倉））

神経伝導検査における鼻筋記録波形の電極位置依存性と最適化

田中 智子、関口 兼司、野田 佳克、杉澤 良介、上月 惇、千原 典夫
神戸大学大学院　医学系研究科　脳神経内科学

EL1　教育講演 1

11 月 12 日（木）　9:00 ～ 9:30（第 2 会場）

座長：黒川 勝己（川崎医科大学総合医療センター 総合内科学 1 ）

EL1　体性感覚誘発電位検査（SEP）解釈の基本

大石 知瑞子[1]、園生 雅弘[2]
[1] 杏林大学　医学部　脳神経内科
[2] 帝京大学　医療技術学部

EL2　教育講演 2

11 月 12 日（木）　9:00 ～ 9:30（第 4 会場）

座長：幸原 伸夫（神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科）

EL2　神経筋エコー最前線 ― 電気と動きをつなぐ

関口 兼司
神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科学

EL3　教育講演 3

11 月 12 日（木）　9:30 ～ 10:00（第 2 会場）

座長：長田 貴宏（順天堂大学 医学部生理学第一講座）

EL3　超音波刺激によるニューロモデュレーション

宇川 義一[1,2,3]
[1] 国立病院機構福島病院　脳神経内科
[2] 福島県立医科大学　システム神経科学
[3] 竹田綜合病院 脳神経内科

EL4　教育講演 4

11 月 12 日（木）　9:30 ～ 10:00（第 4 会場）

座長：今井 富裕（国立病院機構箱根病院 脳神経内科）

EL4　MUNE と MUNIX による運動単位数推定

阿部 達哉
国立病院機構箱根病院　神経筋・難病医療センター　脳神経内科

EL5　教育講演 5

11 月 12 日（木）　10:00 ～ 10:30（第 2 会場）

座長：児玉 三彦（東海大学医学部 専門診療学系リハビリテーション科学）

EL5　顔面神経麻痺の電気生理学とリハビリテーション

仲野 春樹
大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学教室

EL6　教育講演 6

11 月 12 日（木）　10:00 ～ 10:30（第 4 会場）

座長：阿部 達哉（国立病院機構 箱根病院 神経筋・難病医療センター 脳神経内科）

EL6　運動単位から考える F 波―その発生機序と臨床的意義

幸原 伸夫
神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

EL7　教育講演 7

11 月 12 日（木）　10:40 ～ 11:10（第 2 会場）

座長：浅黄 優（東北大学病院 生理検査センター）

EL7　高齢発症てんかんの脳波 Update

神 一敬
東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能学分野

EL8　教育講演 8

11 月 12 日（木）　11:10 ～ 11:40（第 2 会場）

座長：溝渕 雅広（南一条脳内科 / 中村記念病院てんかんセンター 脳神経内科）

EL8　発作時脳波と発作間欠期脳波～ VEEG がなくとも知っておきたい基礎知識～

川口 典彦
NHO 静岡てんかん・神経医療センターてんかん科

EL9　教育講演 9

11 月 12 日（木）　11:40 ～ 12:10（第 2 会場）

座長：前澤 仁志（関西医科大学 リハビリテーション学部）

EL9　ブレインマシンインターフェース最近の動向

平田 雅之
大阪大学　大学院医学系研究科　脳機能診断再建学共同研究講座

EL10　教育講演 10

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 16:20（第 2 会場）

座長：市川 忠（埼玉県総合リハビリテーションセンター 脳神経内科）

EL10　多職種で共有したい DBS の知識

池田 俊勝、森 史、深谷 親、吉野 篤緒
日本大学　医学部　脳神経外科学系神経外科学分野

EL11　教育講演 11

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 16:20（第 5 会場）

座長：吉村 道由（いまきいれ総合病院 脳神経内科）

EL11　MG 診療における同心針電極ジッター解析の役割と限界

中村 友紀
鹿児島大学病院　脳神経内科

EL12　教育講演 12

11 月 12 日（木）　16:20 ～ 16:50（第 2 会場）

座長：深谷 親（日本大学 医学部脳神経外科学分野）

EL12　遷延性意識障害の評価と治療の最前線
― 行動評価から神経生理学的評価、ニューロモデュレーションまで ―

新見 昌央
日本大学医学部リハビリテーション医学分野

EL13　教育講演 13

11 月 12 日（木）　16:20 ～ 16:50（第 5 会場）

座長：国分 則人（獨協医大 脳神経内科）

EL13　神経生理医が遭遇しやすい局所性ニューロパチー / 根障害の電気診断学

正門 由久
IMS 新越谷病院　リハビリテーション科

EL14　教育講演 14

11 月 12 日（木）　16:50 ～ 17:20（第 2 会場）

座長：西田 圭一郎（大阪医科薬科大学 医学部　神経精神医学教室）

EL14　精神疾患治療における経頭蓋磁気刺激療法の最前線：
iTBS から TMS-EEG ガイド下精密神経調節へ

池田 俊一郎
関西医科大学　医学部　精神神経科学講座

EL15　教育講演 15

11 月 12 日（木）　16:50 ～ 17:20（第 5 会場）

座長：黒川 勝己（川崎医科大学総合医療センター 総合内科学 1 ）

EL15　慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー（CIDP）診断の pitfall

神林 隆道
帝京大学　医学部　脳神経内科

EL16　教育講演 16

11 月 13 日（金）　8:30 ～ 9:00（第 2 会場）

座長：佐々木 達也（東北医科薬科大学 脳神経外科）

EL16　脊髄髄内腫瘍手術における術中神経モニタリング：波形をどう読み、手術にどう活かすか

遠藤 俊毅[1]、鷺谷 万葉[2]、佐々木 達也[1]
[1] 東北医科薬科大学　脳神経外科
[2] 東北医科薬科大学病院　臨床工学部

EL17　教育講演 17

11 月 13 日（金）　9:00 ～ 9:30（第 2 会場）

座長：藤井 正美（山口県立総合医療センター 脳神経外科）

EL17　大脳皮質と白質の直接刺激および記録による術中モニタリング

福多 真史[1]、伊藤 陽祐[1]、太田 智慶[1]、平石 哲也[2]、大石 誠[2]
[1] 国立病院機構　西新潟中央病院　脳神経外科
[2] 新潟大学　脳研究所　脳神経外科

EL18　教育講演 18

11 月 13 日（金）　9:30 ～ 10:00（第 2 会場）

座長：白水 洋史（福岡山王病院 脳神経外科、機能脳神経外科センター）

EL18　術中経頭蓋 MEP モニタリングにおける末梢神経刺激 CMAP 補正の有用性

田中 聡
千葉徳洲会病院　脳神経外科

EL19　教育講演 19

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 10:40（第 2 会場）

座長：金村 英秋（東邦大学医学部 小児科学講座（佐倉））

EL19　臨床神経生理学から迫る自閉スペクトラム症の認知機能

藤田 貴子
福岡大学病院　小児科

EL20　教育講演 20

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 10:40（第 4 会場）

座長：福多 真史（国立病院機構西新潟中央病院機能神経外科 機能神経外科）

EL20　脳幹部および脳幹近傍病変に対する mapping の基本手技と有用性

四條 克倫[1]、森 史[1]、渡辺 充[3]、角 光一郎[1]、大島 秀規[3]、深谷 親[2]、大谷 直樹[1]、吉野 篤緒[1]
[1] 日本大学　医学部　脳神経外科
[2] 日本大学　医学部　リハビリテーション科
[3] 埼玉県総合リハビリテーションセンター

EL21　教育講演 21

11 月 13 日（金）　10:40 ～ 11:10（第 2 会場）

座長：吉村 匡史（関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科）

EL21　精神疾患における神経生理学的バイオマーカーの現状と課題

高木 俊輔
東京科学大学精神行動医科学分野

EL22　教育講演 22

11 月 13 日（金）　10:40 ～ 11:10（第 4 会場）

座長：岩崎 真樹（国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科）

EL22　選択的脳領域麻酔　脳機能マッピングの新たな展開

大沢 伸一郎[1]、鈴木 匡子[2]、柿沼 一雄[2]、菊地 花[2]、浮城 一司[3]、石田 誠[3]、勝瀬 一登[2]、太田 祥子[2]、神 一敬[3]、遠藤 英徳[1]
[1] 東北大学大学院　医学系研究科　神経外科学分野
[2] 東北大学大学院　医学系研究科　高次機能障害学分野
[3] 東北大学大学院　医学系研究科　てんかん学分野

EL23　教育講演 23

11 月 13 日（金）　11:10 ～ 11:40（第 2 会場）

座長：矢部 博興（福島県立医科大学 こころと脳の医学講座）

EL23　精神科臨床から始める ERP 研究―こころと脳をつなぐ神経生理学

志賀 哲也
福島県立医科大学　神経精神医学講座

EL24　教育講演 24

11 月 13 日（金）　11:10 ～ 11:40（第 4 会場）

座長：鈴木 千恵子（弘前大学大学院医学研究科 脳神経内科学講座）

EL24　新しい発汗機能検査 SUDOSCAN - 末梢神経障害から神経変性疾患まで -

清水 崇宏[1]、花島 律子[2]
[1] 東京都立神経病院　脳神経内科
[2] 鳥取大学　医学部　脳神経内科

EL25　教育講演 25　Live

11 月 13 日（金）　13:10 ～ 13:40（第 1 会場）

座長：安藤 宗治（和歌山ろうさい病院 整形外科）

EL25　頚椎症と ALS の鑑別

園生 雅弘 [1,2]
[1] 帝京大学　医療技術学部　視能矯正学科
[2] 帝京大学　医学部　脳神経内科

EL26　教育講演 26

11 月 13 日（金）　13:10 ～ 13:40（第 2 会場）

座長：叶内 匡（東京科学大学 大学院 臨床検査医学分野）

EL26　臨床神経生理検査に必要な解剖知識

赤座 実穂
東京科学大学　生命情報応用学分野

EL27　教育講演 27　Live

11 月 13 日（金）　13:40 ～ 14:10（第 1 会場）

座長：幸原 伸夫（神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科）

EL27　針筋電図検査の基本ー検査の進め方と判読のポイントー

神林 隆道
帝京大学　医学部　脳神経内科

EL28　教育講演 28

11 月 13 日（金）　13:40 ～ 14:10（第 2 会場）

座長：長谷川 和重（仙塩利府病院 整形外科・手外科センター）

EL28　末梢神経外科における神経伝導検査・筋電図の実際

山本 真一
横浜労災病院　手・末梢神経外科

EL29　教育講演 29　Live

11 月 13 日（金）　14:10 ～ 14:40（第 1 会場）

座長：畑中 裕己（帝京大学 脳神経内科）

EL29　疼痛を神経生理学的に評価することの意味～機能性神経障害につなげられるか？

西原 真理 [1]、藤田 貢平 [1,2]、牛田 享宏 [1]
[1] 愛知医科大学病院　いたみセンター
[2] 愛知医科大学　精神科学講座

EL30　教育講演 30

11 月 13 日（金）　14:10 ～ 14:40（第 2 会場）

座長：長谷川 和重（仙塩利府病院 整形外科・手外科センター）

EL30　末梢神経外科における神経超音波検査の役割

原 由紀則、川野 健一、田尻 康人
東京都立広尾病院　整形外科・末梢神経外科

EL31　教育講演 31

11 月 13 日（金）　15:00 ～ 15:30（第 2 会場）

座長：花島 律子（鳥取大学医学部　脳神経内科学）

EL31　経頭蓋低電流刺激の基礎知識と安全な使用

西田 圭一郎
大阪医科薬科大学　医学部　神経精神医学会

EL32　教育講演 32

11 月 13 日（金）　15:30 ～ 16:00（第 2 会場）

座長：代田 悠一郎（東京大学医学部附属病院 検査部）

EL32　反復磁気刺激法の基礎知識と安全な使用

花島 律子 [1,2]
[1] 鳥取大学医学部　脳神経内科学
[2] 臨床神経学会脳刺激に関する小委員会

EL33　教育講演 33

11 月 13 日（金）　16:00 ～ 16:30（第 2 会場）

座長：松本 英之（三井記念病院　脳神経内科）

EL33　経頭蓋磁気刺激法を用いた中枢運動神経伝導時間（CMCT）の測定方法と臨床現場での有用性

村上 丈伸、花島 律子
鳥取大学　医学部　脳神経内科

EL34　教育講演 34

11 月 14 日（土）　8:30 ～ 9:00（第 2 会場）

座長：高谷 恒範（奈良県立医科大学 麻酔科学教室　中央手術部）

EL34　終夜睡眠ポリグラフの解析の実際～初心者が学ぶには～

藤田 志保
藤田医科大学病院　臨床検査部

EL35　教育講演 35

11 月 14 日（土）　8:30 ～ 9:00（第 4 会場）

座長：飛松 省三（福岡国際医療福祉大学 医療学部）

EL35　Critical Care EEG 判読指針徹底解説

久保田 有一
東京女子医科大学附属足立医療センター

EL36　教育講演 36

11 月 14 日（土）　9:00 ～ 9:30（第 2 会場）

座長：下竹 昭寛（国立病院機構宇多野病院 脳神経内科）

EL36　睡眠ポリグラフィの記録と解析と解釈にかかわる人々に必要な ME 知識

咲間 妙子 [1,2,3]
[1] 帝京大学　医療技術学部　臨床検査学科
[2] 東京医科大学　睡眠学講座
[3] 神経研究所附属睡眠学研究室

EL37　教育講演 37

11 月 14 日（土）　9:00 ～ 9:30（第 4 会場）

座長：山本 啓之（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 小児科）

EL37　てんかん診療における脳磁図解析の基礎と臨床応用

中島 翠、植田 祐樹、平松 泰好、山田 聡、後藤 健、中久保 佐千子、江川 潔
北海道大学病院小児科

EL38　教育講演 38

11 月 14 日（土）　9:30 ～ 10:00（第 2 会場）

座長：木崎 直人（杏林大学医学部付属病院 臨床検査部）

EL38　神経生理検査に必要な ME と安全対策

内藤 寛
日本赤十字社　伊勢赤十字病院　脳神経内科

EL39　教育講演 39

11 月 14 日（土）　9:30 ～ 10:00（第 4 会場）

座長：渡邉 恵利子（九州大学病院 検査部）

EL39　脳波検査における精度管理と後輩の指導について（大学病院）

小山 由実
広島大学病院　診療支援部　生体検査部門

EL40　教育講演 40

11 月 14 日（土）　10:00 ～ 10:30（第 2 会場）

座長：大石 知瑞子（杏林大学 脳神経内科学）

EL40　初心者が陥る NCS のピットフォール

田中 理
横浜市立脳卒中神経脊椎センター　検査部

SY1　シンポジウム 1　てんかん重積状態 Update

11 月 12 日（木）　9:00 ～ 10:30（第 3 会場）

座長：上原 平（国際医療福祉大学 脳神経内科）
溝渕 雅広（南一条脳内科 / 中村記念病院てんかんセンター 脳神経内科）

SY1-1　小児のてんかん重積状態診療

西山 将広
神戸大学大学院　医学系研究科　内科系講座小児科学分野

SY1-2　成人のてんかん重積状態アップデート

吉村 元
神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

SY1-3　非痙攣性てんかん重積状態アップデート：IIC とのグラデーションと層別化

音成 秀一郎
広島大学病院脳神経内科

SY1-4　てんかん重積状態治療のシステマティックレビュー

上原 平 [1,2,3]
[1] 国際医療福祉大学　医学部　脳神経内科
[2] 福岡山王病院　脳神経内科
[3] 福岡山王病院　てんかん・すいみんセンター

SY2　シンポジウム 2　精神科領域における神経生理学的評価

11 月 12 日（木）　9:00 ～ 10:30（第 5 会場）

座長：菊知 充（金沢大学 精神行動科学（神経精神医学教室））
髙橋 隼（大阪大学大学院 医学系研究科精神医学教室）

SY2-1　せん妄・認知症における臨床脳波研究―自験研究を中心に―

畑 真弘
大阪大学大学院　医学系研究科　精神医学教室

SY2-2　児童精神科における神経生理学的評価の臨床応用の視点

太田 豊作 [1,2]
[1] 奈良県立医科大学　医学部看護学科　人間発達学
[2] 奈良県立医科大学附属病院　精神科・児童精神科

SY2-3　うつ病における定量脳波と臨床展開

西田 圭一郎
大阪医科薬科大学　医学部　神経精神医学教室

SY2-4　統合失調症と at-risk mental state における脳波と事象関連電位所見 ―転帰予測と臨床応用の可能性―

樋口 悠子[1,2]、金子 直史[1,2]、長澤 和也[1,2]、宮津 健成[1,2]、森田 貴也[1,2]、笹林 大樹[1,2]、高橋 努[1,2]
[1] 富山大学　学術研究部医学系　神経精神医学講座
[2] 富山大学　アイドリング脳科学研究センター

SY3　シンポジウム 3　眼振について多様な視点で考えよう !!

11 月 12 日（木）　9:00 ～ 10:30（第 6 会場）

座長：矢部 一郎（北海道大学 医学研究院神経病態学分野神経内科学）

SY3-1　目は口ほどにものを言う ― 眼球運動から小脳疾患を診る ―

白井 慎一[1]、武田 英明[1,2]、矢口 裕章[1]、矢部 一郎[1]
[1] 北海道大学　神経内科
[2] 北海度大学　耳鼻咽喉科頭頸部外科学

SY3-2　Benign Paroxysmal Positional Vertigo（以下 BPPV）の型別眼振

新井 基洋
横浜市立みなと赤十字病院　めまい平衡神経科

SY3-3　眼振の適応を担う速度蓄積機構と神経積分機構

平田 豊[1,2,3,4]
[1] 中部大学　理工学部　AI ロボティクス学科
[2] 中部大学　AI 数理データサイエンスセンター
[3] 中部大学　創発学術院
[4] 新潟大学　研究力強化推進本部

SY4　シンポジウム 4　ニューロモデュレーションの利用法：こんなふうに役立ちます

11 月 12 日（木）　10:40 ～ 12:10（第 3 会場）

座長：木村 活生（横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経内科）
深谷 親（日本大学 医学部脳神経外科学分野）

SY4-1　ニューロモデュレーションはこんなふうに役立ちます―パーキンソン病に対する Deep Brain Stimulation の過去・現在・未来―

西川 泰正
国立病院機構　盛岡医療センター　脳神経外科

SY4-2　ジストニアに対するニューロモデュレーション治療と本邦での現状

旭 雄士[1]、池田 清延[1]、山本 治郎[1]、室 裕子[2]、赤井 卓也[1]、山本 信孝[1]
[1] 金沢脳神経外科病院　脳神経外科
[2] 金沢脳神経外科病院　臨床工学技士

SY4-3　ITB 療法の適応と長期有効性

内山 卓也、高橋 淳
近畿大学医学部　脳神経外科

SY4-4　脊髄刺激療法の現在地―疼痛治療から脊髄神経回路のニューロモデュレーションへ

上利 崇
国際医療福祉大学成田病院 脳神経外科

SY5　シンポジウム 5　神経発達症の脳波異常をどう考える？

11 月 12 日（木）　10:40 ～ 12:10（第 4 会場）

座長：稲垣 真澄（鳥取県立鳥取療育園 小児科）
金村 英秋（東邦大学医学部 小児科学講座（佐倉））

SY5-1　神経発達症の脳波異常をどう考える？～てんかん性突発波と行動異常との関連～

金村 英秋
東邦大学医療センター佐倉病院　小児科

SY5-2　自閉スペクトラム症の脳波異常をどう考える

中川 栄二
国立精神・神経医療研究センター病院　脳神経小児科

SY5-3　神経発達症における脳波異常

安原 昭博
安原こどもクリニック

SY5-4　神経発達症における定量脳波解析の臨床応用と課題

佃 万里、池田 俊一郎、加藤 正樹
関西医科大学総合医療センター　精神神経科

SY6　シンポジウム 6　精神科臨床における rTMS の各施設の運用状況と、今後の普及にむけての提案

11 月 12 日（木）　10:40 ～ 12:10（第 5 会場）

座長：池田 俊一郎（関西医科大学 精神神経科学講座）
岩田 正明（鳥取大学 脳神経医科学講座　精神行動医学分野）

SY6-1　関西エリアの rTMS 療法の運用状況と今後の展開について

高橋 隼 [1,2]
[1] 大阪大学大学院　医学系研究科　精神医学教室
[2] 浅香山病院　臨床研究研修センター

SY6-2　臨床研究・教育を組み込んだ rTMS 療法の運用

小高 文聰
東京慈恵会医科大学　精神医学講座

SY6-3　山陰地方における rTMS の実施状況と地域医療連携上の課題

山梨 豪彦
鳥取大学医学部　脳神経医科学講座　精神行動医学分野

SY6-4　入院 rTMS 療法の実臨床成績と治療転帰予測
―単施設 117 例の治療抵抗性うつ病コホートから―

西澤 由貴、松本 康一、大西 尚哉、今津 伸一、西田 圭一郎、金沢 徹文
大阪医科薬科大学　神経精神医学教室

SY7　シンポジウム 7　術中脊髄モニタリングの各種モダリティーの評価

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 17:20（第 3 会場）

座長：安藤 宗治（和歌山ろうさい病院 整形外科）
齋藤 貴徳（関西医科大学 整形外科学講座）

SY7-1　Tc-MEP による術中モニタリングの問題点

吉田 剛
浜松医療センター　整形外科

SY7-2　Utilization of somatosensory evoked potential

山田 徹
アイオワ大学 神経内科

SY7-3　D-wave による術中モニタリングの有用性

大島 秀規[1,2]、森 史[2]、渡辺 充[1]、角 光一郎[2]、四條 克倫[2]、深谷 親[2]、吉野 篤緒[2]
[1] 埼玉県総合リハビリテーションセンター　脳神経外科
[2] 日本大学医学部　脳神経外科学系神経外科学分野

SY7-4　脊椎脊髄手術における自発筋電図の有用性

橋本 淳[1,2]、川端 茂徳[2,3]、田村 聡至[2]、吉井 俊貴[2]
[1] 九段坂病院　整形外科
[2] 東京科学大学整形外科
[3] 東京科学大学大学院　先端技術医療応用学講座

SY8　シンポジウム 8　脳波判読における Density Spectral Array（DSA）の活用

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 17:20（第 4 会場）

座長：久保田 有一（東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科）
神 一敬（東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能学分野）

SY8-1　DSA はルーチン脳波判読をどう変えるか

音成 秀一郎
広島大学病院脳神経内科

SY8-2　長時間ビデオ脳波モニタリングにおける Density Spectral Array の活用

此松 和俊、神 一敬
東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

SY8-3　Critical Care EEG 判読における DSA の活用法

福地 聡子 [1,2]
[1]TMG あさか医療センター　臨床検査部
[2]TMG あさか医療センター　てんかんセンター

SY9　シンポジウム 9　神経生理検査にまつわるインシデント事例とその是正および予防処置

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 17:20（第 6 会場）

座長：植松 明和（大東文化大学 スポーツ・健康科学部　健康科学科）
西村 とき子（公益財団法人　日本適合性認定協会 LAB 認定ユニット）

SY9-1　インシデント発生時の緊急処置から予防措置に至るまでのプロセス

木村 早希
国立病院機構　渋川医療センター　臨床検査科

SY9-2　脳波検査のインシデント事例から学ぶ医療安全対策と品質管理

宇城 研悟
済生会松阪市民病院　医療技術部

SY9-3　神経伝導検査のインシデント事例の提示およびその対策

木崎 直人
杏林大学　医学部　付属病院　臨床検査部

SY9-4　術中神経モニタリングにおけるインシデント事例と是正・予防処置

小川 優司
医療法人渓仁会　手稲渓仁会病院　臨床検査部

SY10　シンポジウム 10　特殊な MND の臨床と電気生理

11 月 13 日（金）　8:30 ～ 10:00（第 3 会場）

座長：国分 則人（獨協医科大学 脳神経内科）

SY10-1　FOSMN 症候群の臨床と電気診断

澁谷 和幹
千葉大学脳神経内科

SY10-2　Spinal and Bulbar Muscular Atrophy（SBMA）の臨床と生理検査

鈴木 洋司、古橋 凱、中村 圭吾、伊賀崎 翔太、森下 直樹、酒井 直樹
焼津市立総合病院　脳神経内科

SY10-3　SOD1 遺伝子変異を有する ALS の臨床と電気生理

矢野 直志
鹿児島大学　脳神経内科

SY11　シンポジウム 11　経皮的耳介迷走神経刺激（taVNS）基礎と臨床応用

11 月 13 日（金） 8:30 ～ 10:00（第 4 会場）

座長：桐本 光（広島大学大学院 医系科学研究科　感覚運動神経科学）
寺尾 安生（杏林大学 病態生理学教室）

SY11-1　迷走神経刺激による脳内環境制御
― グリア・血管・神経回路の相互作用 ―
生駒 葉子、松井 広
東北大学　大学院生命科学研究科　超回路脳機能分野

SY11-2　経皮的迷走神経刺激によるヒト感覚運動系のニューロモジュレーション
桐本 光
広島大学大学院　医系科学研究科　感覚運動神経科学

SY11-3　経皮的迷走神経刺激の脳波と認知機能への影響
寺尾 安生
杏林大学病態生理

SY11-4　経皮的耳介迷走神経刺激療のてんかんへの影響
白石 秀明
獨協医科大学小児科学

SY12　シンポジウム 12　神経筋接合部疾患における電気生理学的検査の感度・特異度

11 月 13 日（金） 8:30 ～ 10:00（第 5 会場）

座長：今井 富裕（国立病院機構箱根病院 脳神経内科）

SY12-1　重症筋無力症における電気生理学的検査の感度・特異度の再検証
中村 友紀
鹿児島大学病院　脳神経内科

SY12-2　Lambert-Eaton 筋無力症候群における電気生理学的検査の感度・特異度
黒川 勝己
川崎医科大学総合医療センター　総合内科学 1

SY12-3　ボツリヌス症における電気生理学的検査
阿部 達哉
国立病院機構箱根病院　神経筋・難病医療センター　脳神経内科

SY12-4　興奮収縮連関評価法の実用化に向けて
廣瀬 文吾
札幌医科大学　医学部　内科学講座神経内科分野

SY13　シンポジウム 13　臨床神経生理検査における AI の発展

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 11:40（第 3 会場）

座長：叶内 匡（東京科学大学 大学院 臨床検査医学分野）
関口 兼司（神戸大学大学院医学系研究科 内科学講座　脳神経内科学）

SY13-1　深層学習を用いた神経超音波画像解析

赤座 実穂、前田 亮、角 勇樹
東京科学大学　生命情報応用学分野

SY13-2　針筋電図の AI 診断：未ラベル臨床アーカイブを活かす半教師あり自己学習

野寺 裕之
天理よろづ相談所病院　神経筋疾患センター

SY13-3　AI による筋超音波解析：テクスチャ・深層学習・動態評価

野田 佳克[1,2]、関口 兼司[1]、杉澤 良介[1]、上月 淳[1]、田中 智子[1]、千原 典夫[1]
[1] 神戸大学大学院医学系研究科・内科学講座　脳神経内科学分野
[2] 中田医院

SY13-4　遠隔脳波判読データベースを基盤とする AI による脳波判読およびてんかん診断システムの開発

菅野 秀宣[1]、田中 聡久[3,4]、松井 亮祐[3,4]、中島 円[2,4]、三橋 匠[2]、鈴木 皓晴[2]、飯村 康司[2]
[1] スガノ脳神経外科クリニック
[2] 順天堂大学　脳神経外科
[3] 東京農工大学　工学研究院
[4] 株式会社シグロン

SY14　シンポジウム 14　歩行リハビリテーション治療の臨床神経生理学

11 月 13 日（金）　13:10 ～ 15:10（第 4 会場）

座長：長谷 公隆（関西医科大学 リハビリテーション医学講座）
藤原 俊之（順天堂大学 リハビリテーション医学講座）

SY14-1　歩行ニューロモデュレーションの個別最適化に向けた脊髄神経経路の歩行位相依存的制御の解明

高橋 容子[1,2]
[1] 順天堂大学　保健医療学部　理学療法学科
[2] 株式会社国際電気通信基礎技術研究所　脳情報研究所　ブレインロボットインタフェース研究室

SY14-2　外骨格型サイボーグを用いた歩行訓練における臨床神経生理学的変化

羽田 康司
筑波大学　医学医療系　リハビリテーション医学

SY14-3　閉ループ脳刺激を用いた歩行リハビリテーションの展開

小金丸 聡子
大阪医科薬科大学　医学部　リハビリテーション医学教室

SY14-4　歩行機能に関する最新リハビリテーション治療の取り組み

谷 真美
順天堂大学医学部リハビリテーション医学講座

SY15　シンポジウム 15　精神神経疾患 E/I バランス最前線

11 月 13 日（金）　13:10 ～ 14:40（第 5 会場）

座長：平野 羊嗣（宮崎大学 臨床神経科学講座精神医学分野）
松本 理器（京都大学 臨床神経学）

SY15-1　頭蓋内脳波からみた難治性焦点てんかん患者の E/I バランス

梶川 駿介[1]、小林 勝哉[2]、木村 正夢嶺[3]、松本 理器[2]
[1] 京都大学大学院医学研究科　てんかん・運動異常生理学講座
[2] 京都大学大学院医学研究科　臨床神経学
[3] 神戸大学大学院医学系研究科・内科学講座　脳神経内科学分野

SY15-2　E/I balance disruption in schizophrenia

平野 羊嗣
宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野

SY15-3　認知症・てんかんの神経過興奮病態と E/I バランス

甲田 一馬、松本 理器
京都大学大学院医学研究科　臨床神経学

SY15-4　頭皮脳波からみた自閉スペクトラム症の神経柔軟性低下―E/I バランスの観点から―

中村 元昭[1]、直江 大河[1]、泉谷 芽生[3]、田中 宏祐[2]、鹿内 友美[1]、板橋 貴史[1]、佐藤 洋輔[2]、北城 圭一[3]
[1] 昭和医科大学　発達障害医療研究所
[2] 昭和医科大学　脳機能解析・デジタル医学研究所
[3] 生理学研究所　神経ダイナミクス研究部門

SY16　シンポジウム 16　日本発のウェアラブル生理デバイスの現在地　Live

11 月 13 日（金）　15:00 ～ 16:30（第 1 会場）

座長：松本 理器（京都大学 臨床神経学）
宮島 美穂（東京科学大学 大学院 医歯学総合研究科　精神行動医科学分野）

SY16-1　ウェアラブル心拍センサと異常検知 AI によるてんかん発作予知

藤原 幸一
北海道大学　電子科学研究所

SY16-2　日本発のウェアラブル生理デバイスの現在地

松本 理器[1]、甲田 一馬[1]、北村 竜也[2]、保多 隆裕[2]
[1] 京都大学大学院医学研究科臨床神経学
[2] 神戸大学大学院医学系研究科　医療創成工学専攻　医療機器システム学

SY16-3　在宅長時間脳波モニタリングの実現に向けたヘルメット型脳波計の開発

浮城 一司
東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

SY17　シンポジウム 17　神経発達症における電気生理学的手法を用いた脳研究の現在とこれから

11 月 13 日（金）　15:00 ～ 16:30（第 5 会場）

座長：板垣 俊太郎（福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座）

SY17-1　安静時定量脳波解析から神経発達症の神経生理学的基盤を捉える

佃 万里、池田 俊一郎、加藤 正樹
関西医科大学総合医療センター　精神神経科

SY17-2　神経発達症における事象関連電位（ERP）研究のこれからについて考える

加賀 佳美
山梨大学　医学部　小児科

SY17-3　発達障害と事象関連電位

佐藤 彩、板垣 俊太郎
福島県立医科大学　医学部　神経精神医学講座

SY17-4　神経発達症 ERP 研究の新展開：幼児用 MEG による音声脳機能解析から OPM-MEG 時代へ

菊知 充[1,2]、吉村 優子[2]
[1] 金沢大学医学系精神行動科学
[2] 金沢大学子どものこころの発達研究センター

SY18　シンポジウム 18　ワーキングメモリと運動機能

11 月 13 日（金）　15:30 ～ 16:30（第 4 会場）

座長：金子 文成（東京都立大学 人間健康科学研究科 理学療法学域）
清水 崇宏（東京都立神経病院 脳神経内科）

SY18-1　運動イメージによる運動学習の個人差：ワーキングメモリの役割と神経メカニズム

福本 悠樹[1,2]、鈴木 俊明[1,2]
[1] 関西医療大学大学院 保健医療学研究科
[2] 関西医療大学 保健医療学部 理学療法学科

SY18-2　ワーキングメモリと運動機能の相互作用―二重課題からみる神経基盤と加齢変化―

澤村 大輔[1,2]、三浦 拓[3,4]、荻原 憂治[1,4]、タ キンキン[5]、小川 健二[6]、小野 弓絵[7]
[1] 北海道大学大学院保健科学研究院
[2] Department of Physiotherapy, Faculty of Medicine, Dentistry and Health Sciences, University of Melbourne
[3] 北海道大学大学院保健科学院
[4] 社会医療法人豊生会 東苗穂病院
[5] 北海道大学大学院医理工学院グローバルセンター
[6] 北海道大学大学院文学研究院人間科学部門
[7] 明治大学理工学部電気電子生命学科

SY18-3　ワーキングメモリと二重課題

木村 剛英
アール医療専門職大学

SY19　シンポジウム 19　AI とビッグデータに対する当学会の取り組みと自動解析への応用の可能性

11 月 14 日（土） 8:30 ～ 10:30（第 5 会場）

座長：後藤 純信（国際医療福祉大学 医学部 生理学講座）
野寺 裕之（天理よろづ相談所病院 神経疾患センター）

SY19-1　AI を活用した臨床神経生理学研究と教育活動の試み

牛場 潤一
慶應義塾大学　理工学部　生命情報学科

SY19-2　AI を用いたデータ構築と解析の方向性：医工学の連携

野寺 裕之
天理よろづ相談所病院　神経筋疾患センター

SY19-3　MEG 分野での AI 利用の現状と将来

平田 雅之
大阪大学　大学院医学系研究科　脳機能診断再建学共同研究講座

SY19-4　AI を用いた心と精神疾患の解明：臨床神経生理データから見た可能性と限界

高木 俊輔
東京科学大学精神行動医科学分野

SY19-5　AI による認知症脳波診断から DMD による脳波特徴同定へ

福間 良平[1,2]、河原 吉伸[3,4]、山下 宙人[3,5]、間島 慶[6]、貴島 晴彦[2]、柳澤 琢史[1,2]
[1] 大阪大学大学院　医学系研究科　神経情報学
[2] 大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学
[3] 理化学研究所　革新知能統合研究センター
[4] 大阪大学大学院　情報科学研究科　情報システム工学専攻
[5] 国際電気通信基礎技術研究所　脳情報解析研究所　計算脳イメージング研究室
[6] 量子科学技術研究開発機構　量子生命科学研究所

SY19-6　てんかん・精神神経疾患における脳画像 AI の検証と臨床実装

曽根 大地
順天堂大学　医学部　精神医学講座

SY20　シンポジウム 20　FND 診療における電気診断の役割

11 月 14 日（土）　10:10 ～ 12:10（第 1 会場）

座長：宇川 義一（NHO 福島病院 脳神経内科）
園生 雅弘（帝京大学 医療技術学部視能矯正学科）

SY20-1　機能性筋力低下・感覚障害に対する電気生理検査の役割

神林 隆道
帝京大学　医学部　脳神経内科

SY20-2　Seronegative MG と FND

今井 富裕
国立病院機構箱根病院　脳神経内科

SY20-3　Functional movement disorder（FMD）における生理学検査

宇川 義一[1,2]
[1] 国立病院機構福島病院　脳神経内科
[2] 福島県立医科大学　システム神経科学

SY20-4　機能性 / 解離性発作とてんかん発作の鑑別―ビデオ脳波・筋電図・AI 動画解析

斉藤 聡志[1,2]、倉持 泉[1]、田中 久弥[3]、谷口 豪[1]
[1] 国立精神・神経医療研究センター病院　てんかん診療部
[2] 東京女子医科大学　脳神経内科
[3] 工学院大学　情報学部　情報デザイン学科

SY21　シンポジウム 21　これから始める CriticalCareEEG・長時間ビデオ脳波の運用

11 月 14 日（土）　10:10 ～ 12:10（第 4 会場）

座長：久保田 有一（東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科）
髙橋　修（東京都リハビリテーション病院 検査科）

SY21-1　Critical Care EEG・長時間ビデオ脳波の運用：日本方式の模索

吉村 元
神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

SY21-2　神経疾患における Critical Care EEG・長時間ビデオ脳波モニタリング

山野 光彦[1,2]
[1] 東海大学　医学部　医学科　総合診療学系
[2] 東海大学医学部付属病院　脳神経内科

SY21-3　脳波技師による CriticalCareEEG･長時間ビデオ脳波モニタリングの運用　ー当院の経験よりー

福地 聡子[1,2]
[1]TMG あさか医療センター　臨床検査部
[2]TMG あさか医療センター　てんかんセンター

SY21-4　Critical Care EEG　検査部での取り組みとウェアラブル脳波計の活用

鈴木 加奈子[1]、夏原 聡[2]、甲田 一馬[2]、宇佐美 清英[3]、長尾 美紀[4]、松本 理器[2]
[1] 京都大学　医学研究科　てんかん・運動異常生理学講座
[2] 京都大学医学部附属病院　脳神経内科
[3] 京都大学医学部附属病院　検査部
[4] 京都大学　大学院医学系研究科　臨床病態検査学

SY22　シンポジウム 22　痙縮評価・治療のトピックス

11 月 14 日（土）　10:40 ～ 12:10（第 2 会場）

座長：川上 途行（慶應義塾大学 医学部リハビリテーション医学教室）
鈴木 俊明（関西医療大学）

SY22-1　痙縮評価・治療のトピックス
―静的評価から動的評価へ：神経生理学的視点を踏まえた新たな評価戦略―

補永 薫
順天堂大学医学部附属浦安病院

SY22-2　痙縮治療における動作評価の重要性：治療効果判定への応用

川上 途行
慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室

SY22-3　伸張反射亢進の抑制を目指したアプローチとしての視覚誘導性運動錯覚

金子 文成[1,2]
[1] 東京都立大学　人間健康科学研究科　理学療法科学域
[2] 慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室

SY22-4　BCI は脳卒中片麻痺上肢の痙縮改善をもたらすか？

牛場 潤一
慶應義塾大学　理工学部　生命情報学科

SY23　シンポジウム 23　より低侵襲に頭蓋内脳波を記録するために

11 月 14 日（土）　13:40 ～ 14:40（第 5 会場）

座長：國井 尚人（自治医科大学 脳神経外科学講座）

SY23-1　SEEG 電極留置におけるロボット支援とフレーム法の使い分け

江夏 怜、菅野 彩、三國 信啓
札幌医科大学脳神経外科

SY23-2　より低侵襲な頭蓋内脳波記録を目指した電極留置の工夫

大谷 啓介、佐藤 信、井林 賢志、石下 洋平、川合 謙介、國井 尚人
自治医科大学　脳神経外科

SY23-3　血管内脳波の測定と発作時波形　今分かっていること

増田 洋亮[1,2]、細尾 久幸[3]、荒木 孝太[2,4,5]、西村 光代[2,6]、田中 駿[3]、石川 栄一[1,2]、松丸 祐司[1,3]
[1] 筑波大学医学医療系 脳神経外科
[2] 筑波大学附属病院 てんかんセンター
[3] 筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学
[4] 筑波大学臨床医学研究開発機構
[5] 筑波大学附属病院 脳神経外科
[6] 筑波大学附属病院 検査部

WS1　ワークショップ 1　問題症例・症例検討（脳波）

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 11:40（第 5 会場）

座長：伊藤 進（東京女子医科大学 小児科）
三枝 隆博（大阪市立総合医療センター　脳神経内科）

WS1-1　右母指・示指への刺激により誘発される発作を呈したてんかんの 1 例

山本 直寛[1,2]
[1] 大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター
[2] 奈良県総合医療センター　小児科

WS1-2　精神症状の診断・対応に苦慮している難治性てんかんの一例

服部 雄二[1]、梶川 駿介[1]、吉岡 美奈[1]、宇佐美 清英[1,2]、植野 仙経[3]、松本 理器[1]
[1] 京都大学医学部附属病院　脳神経内科
[2] 京都大学医学部附属病院　検査部
[3] 京都大学医学部附属病院　精神科神経科

WS1-3　半球離断術後にも発作が難治に経過する周産期脳梗塞後のてんかんの一例

齋藤 貴志
国立精神・神経医療研究センター病院　脳神経小児科

WS1-4　全般性棘徐波複合をどう解釈するか―左前頭葉構造病変を有する難治性てんかんの一例―

横佐古 卓、神部 茉由、久保田 有一
東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科

WS2　ワークショップ 2　神経筋疾患の問題症例

11 月 14 日（土）　8:30 ～ 10:00（第 1 会場）

座長：大崎 裕亮（徳島県立中央病院 脳神経内科）
畑中 裕己（帝京大学 脳神経内科）

WS2-1　左乳癌の治療から 25 年後に左上肢の運動麻痺と感覚障害が進行し，診断と治療に難渋した 1 例

木原 直輝、山崎 博輝、東原 真奈、和泉 唯信
徳島大学病院　脳神経内科

WS2-2　手根管症候群の術後にF波で反復放電を認めた1症例

本田 愛莉[1]、大栗 聖由[2]、川原 佳周[1]、近藤 秀則[3]
[1]香川県立保健医療大学　大学院　保健医療学研究科　臨床検査学専攻
[2]香川県立保健医療大学　保健医療学部　臨床検査学科
[3]香川労災病院　第三整形外科

WS2-3　緩徐進行性に小指外転筋、掌側骨間筋、尺側虫様筋の選択的な筋力低下を呈し、局在診断のため詳細な評価を行った26歳女性例

松野 博優[1]、三森 雅広[1]、山本 董[1]、茂木 晴彦[1]、高津 宏樹[2]、河野 優[3]、前田 和洋[4]、園生 雅弘[5,6]
[1]東京慈恵会医科大学　内科学講座　脳神経内科
[2]東京慈恵会医科大学　整形外科学講座
[3]東京慈恵会医科大学　葛飾医療センター　脳神経内科
[4]富士市立中央病院　脳神経内科、[5]帝京大学　医療技術学部　視能矯正学科
[6]帝京大学　医学部　脳神経内科学

WS2-4　エリブリン投与中に脱髄性ニューロパチーを呈した1例

難波 広人、中村 仁、藤井 勇基、千葉 隆司、神林 隆道、畑中 裕己、小林 俊輔
帝京大学　医学部　脳神経内科

WS3　ワークショップ3　症例から学ぶ小児脳波判読：基礎波形から難症例まで

11月14日（土）　13:40 ～ 15:10（第2会場）

座長：井上 岳司（大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科）
小林 勝弘（旭川荘療育・医療センター）

WS3-1　脳波を「点」ではなく「線」で読む　～経時的変化から学ぶ小児脳波判読～

伊藤 祐史
名古屋大学医学部附属病院小児科

WS3-2　その動きは発作か？―ビデオ脳波で読み解く小児の紛らわしい発作性事象―

森 達夫[1,2]
[1]徳島大学　医学部　学校保健学分野
[2]徳島大学病院　小児科

WS3-3　発作症候を意識した全般てんかんの脳波判読

太田 健人、金井 創太郎、岡西 徹、前垣 義弘
鳥取大学医学部附属病院　脳神経小児科

WS3-4　この脳波、どう読む？ー小児神経救急・集中治療における急性期脳波判読

丸山 あずさ
兵庫県立こども病院　神経内科

WS4　ワークショップ 4　専門医・専門技術師試験問題解説

11 月 14 日（土）　13:40 ～ 15:10（第 3 会場）

座長：吉村 匡史（関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科）

WS4-1　認定試験問題（脳波分野）の概要

杉山 邦男
東邦大学医療センター大森病院　臨床生理機能検査部

WS4-2　筋電図・神経伝導分野

植松 明和
大東文化大学　スポーツ・健康科学部　健康科学科

WS4-3　専門医・専門技術師試験問題解説 臨床神経生理学：基礎と ME の概要

木崎 直人
杏林大学　医学部　付属病院　臨床検査部

WS4-4　モニタリング分野

高谷 恒範
奈良県立医科大学　麻酔科学教室　中央手術部

WS5　ワークショップ 5　問題症例・症例検討（モニタリング）

11 月 14 日（土）　13:40 ～ 15:10（第 4 会場）

座長：川端 茂徳（東京科学大学 先端技術医療応用学講座（整形外科））
福多 真史（国立病院機構西新潟中央病院機能神経外科 機能神経外科）

WS5-1　妊娠中に術中神経モニタリング下で開頭腫瘍摘出術を行った 1 例

森 史、角 光一郎、四條 克倫、大谷 直樹、吉野 篤緒
日本大学医学部脳神経外科

WS5-2　高音障害型感音難聴を示す聴神経腫瘍で，tone 音での術中 BAEP（ABR）が有用であった 1 症例

井澤 和美[1]、埜中 正博[2]、濱本 貴大[2]、松田 良介[2]、秋元 明日香[3]、釜矢 梨乃[3]、黒石 勇樹[3]、山本 優希[3]
[1] 関西医科大学 整形外科
[2] 関西医科大学 脳神経外科
[3] 関西医科大学附属病院 医用工学部

WS5-3　内視鏡下経鼻的眼窩内腫瘍摘出において、外眼筋モニタリングにより内直筋と下直筋を区別できた眼窩内腫瘍の一症例

板橋 悠太郎、中村 俊介、向田 直人、岡野 淳、山口 玲、本多 文昭、大宅 宗一
群馬大学医学部付属病院　脳神経外科

WS5-4　術中脊髄モニタリングにて真陽性・偽陽性・レスキュー例を呈した脊椎脊髄手術症例の検討

後迫 宏紀
浜松医科大学　整形外科

WS5-5　体位性末梢神経障害を疑わせる Tc-MEP 振幅低下とその回復過程に関する 2 症例の検討

荒川 保雄[1]、藤原 靖[2]、村上 欣[2]、松本 明子[2]、片山 暁[3]、荒川 三和[3]、橘 仁志[3]、大下 真代[3]、田村 雄大[1]、三宅 紘太[1]、日野山 辰貴[1]、伊藤 駿希[1]、北村 和真[1]、武田 沙緒梨[1]、齋藤 悠[1]、西田 純士[1]、星子 清貴[1]、栗岡 美奈子[1]、山口 裕司[1]、上田 彰[1]
[1] 広島市立北部医療センター安佐市民病院　臨床工学室
[2] 広島市立北部医療センター安佐市民病院　整形外科
[3] 広島市立北部医療センター安佐市民病院　心臓血管外科

WS5-6　神経束由来が疑われた腕神経叢神経鞘腫摘出術に対して多髄節・全神経束網羅的術中神経モニタリングを施行した一症例

土方 加奈、宮林 知誉、溝端 亮兵、森嶋 良一、大西 雅人、田中 裕滋、河村 健二
奈良県立医科大学付属病院

SS1　サテライトシンポジウム 1　神経筋超音波研究会

11 月 12 日（木）　17:40 ～ 19:40（第 1 会場）

当番世話人：濱口　浩敏（北播磨総合医療センター）
第 1 部座長：野寺 裕之（天理よろづ相談所病院神経筋疾患センター 脳神経内科）
関口 兼司（神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科学分野）
第 2 部座長：濱口 浩敏（北播磨総合医療センター）
共催：GE ヘルスケア株式会社 / エーザイ株式会社

第 1 部　症例検討

SS1-1　腓腹神経生検前評価における神経超音波の有用性 ー神経伝導検査および病理所見との比較ー

鈴木 郁
帝京大学脳神経内科

SS1-2　超音波検査により横隔膜のタコツボ様変形を観察し得た ALS の 1 例

早坂 美保[1,2]、梅原 さや香[1]、増子 歩[1]、伊藤 英一[1]、塚本 浩[2]、宇川 義一[1]、杉浦 嘉泰[1]
[1] 独立行政法人国立病院機構福島病院
[2] けんせいクリニック

SS1-3　シェーグレン症候群に伴う感覚性ニューロノパチーで頸神経根の著明な菲薄化を認めた一例

田中 弘一、山川 勇、漆谷 真
滋賀医科大学医学部附属病院

SS1-4　ハンセン病のらい反応における神経超音波所見の経時的変化

福本 竜也[1]、木村 友彦[2]、高松 直子[1]、谷 美紀[1,3]、吉田 ありさ[3]、東原 真奈[1]、和泉 唯信[1]
[1] 徳島大学病院　脳神経内科
[2] 東京大学病院　脳神経内科
[3] 徳島大学病院　皮膚科

SS1-5　筋超音波で捉えた呼吸性共同運動（Breathing arm）の一例

杉澤 良介、上月 惇、田中 智子、野田 佳克、関口 兼司
神戸大学大学院医学系研究科内科学講座脳神経内科学分野

SS1-6　失神の精査における頸動脈エコー検査で迷走神経への腫瘍浸潤を確認した 1 例

松野 泰幸、高田 真利子、松井 啓悟、都留 朝希、矢幡 悟大、小田 哲也、濱口 浩敏
北播磨総合医療センター 脳神経内科

第 2 部　ライブデモンストレーション

基礎編　知っておきたい神経筋エコーの基本手技

高松 直子
徳島大学病院 脳神経内科

応用編　知っておきたい神経筋エコーの基本手技

山崎 博輝
徳島大学病院 脳神経内科

SS2　サテライトシンポジウム 2　中枢神経刺激法の臨床応用と安全性に関する研究会

11 月 12 日（木）　17:40 ～ 19:40（第 2 会場）

座長：濱田 雅（東京大学医学部附属病院 脳神経内科）

SS2-1　脳内の誘導電場設計に基づく TMS コイルの研究開発

飯野 杏菜[1]、福地 柊斗[2]、金 慧旻[1]、森 信彦[3]、細見 晃一[3]、関野 正樹[1]
[1] 東京大学大学院　工学系研究科　バイオエンジニアリング専攻
[2] 東京大学大学院　工学系研究科　電気系工学専攻
[3] 大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学

SS2-2　閉ループ非侵襲性脳刺激によるリハビリテーション介入

野嶌 一平[1]、美馬 達哉[2]、植木 美乃[3]
[1] 名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻
[2] 立命館大学大学院先端総合学術研究科
[3] 名古屋市立大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野

SS2-3　ヒト脳のアミロイドベータ関連シナプス機能障害を可視化する
―4 連発経頭蓋磁気刺激法の有用性―

村上 丈伸
鳥取大学医学部附属病院　脳神経内科

SS2-4　文献レビュー 2026

代田 悠一郎
東京大学　医学部附属病院　検査部

SS3　サテライトシンポジウム 3　第 13 回脳脊髄術中モニタリング懇話会「術中 MEP モニタリングの標準化と最適化」

11 月 12 日（木）　17:40 ～ 19:40（第 3 会場）

当番世話人：兒玉 邦彦（日本赤十字社　飯山赤十字病院 脳神経外科）
第 1 部座長：藤井 雄（信州大学医学部 脳神経外科）
高谷 恒範（奈良県立医科大学 麻酔科学教室　中央手術部）
第 2 部座長：高谷 恒範（奈良県立医科大学 麻酔科学教室　中央手術部）
兒玉 邦彦（日本赤十字社　飯山赤十字病院 脳神経外科）

第 1 部

SS3-1　いま改めて考える、MEP の活かし方と付き合い方

井澤 和美
関西医科大学 整形外科

SS3-2　脊椎脊髄手術の MEP モニタリング：カラーグレーディング法の開発とその有用性

藤原 靖[1]、村上 欣[1]、荒川 保雄[2]
[1] 広島市立北部医療センター安佐市民病院　整形外科・顕微鏡脊椎脊髄センター
[2] 広島市立北部医療センター安佐市民病院　ME センター

SS3-3　より感度の高い MEP モニタリングを達成するために　脳神経外科の立場

後藤 哲哉
千葉脳神経外科病院

SS3-4　術中 MEP モニタリングの標準化と最適化　大血管手術について

吉谷 健司
東京女子医科大学 麻酔科

第 2 部　パネルディスカッション

ディスカッサント：
井澤 和美（関西医科大学 整形外科）
藤原 靖（広島市立北部医療センター安佐市民病院　整形外科・顕微鏡脊椎脊髄センター）
後藤 哲哉（千葉脳神経外科病院）
吉谷 健司（東京女子医科大学 麻酔科）

SS4　サテライトシンポジウム 4　第 10 回 MMN 研究会

11 月 12 日（木）　17:40 ～ 19:40（第 4 会場）

座長：切原 賢治（東京大学 多様性包摂共創センター）
星野 大（福島県立医科大学　神経精神医学講座）

SS4-1　精神症発症リスク状態（ARMS）における多段階臨床転帰の予測因子

長澤 和也[1,2]、樋口 悠子[1,2]、金子 直史[1,2]、宮津 健成[1,2]、島滝 駿佑[1,2]、西山 志満子[1,3]、赤崎 有紀子[1,4]、泉 毬乃[1]、辻井 農亜[4]、高橋 努[1,2]
[1] 富山大学　学術研究部医学系　神経精神医学講座
[2] 富山大学　アイドリング脳科学研究センター
[3] 富山大学　学術研究部教育研究推進系　保健管理センター
[4] 富山大学附属病院　こどものこころと発達診療学講座

SS4-2　ミスマッチ陰性電位を用いた統合失調症の脳予測性障害の解明：
ヒトからモデル動物へのトランスレーショナル研究

切原 賢治[1,2]、塩田 怜士[2]、岸上 泰己[1,2]、越山 太輔[2]、笠井 清登[2]
[1] 東京大学　多様性包摂共創センター
[2] 東京大学　附属病院　精神神経科

SS4-3　What Do Omission Responses Tell Us About Auditory Prediction? From MMN to Single Neurons

Yaron Amit[1]、Chao Zenas C.[1]、Hirokazu Takahashi[1,2]、Tomoyo Isoguchi Shiramatsu[2]
[1] The University of Tokyo International Research Center for Neurointelligence (WPI-IRCN), UTIAS
[2] The University of Tokyo　Department of Mechano-Informatics, Graduate School of Information Science and Technology

SS4-4　夜勤・交代制勤務は持続長変化ミスマッチ陰性電位に反映される自動的な聴覚認知に影響しない

菅野 和子[1]、星野 大[1]、森 湧平[1]、高橋 雄一[1]、錫谷 研[1]、志賀 哲也[1]、各務 竹康[2]、
板垣 俊太郎[1]、矢部 博興[1,3]、三浦 至[1]
[1] 福島県立医科大学　医学部　神経精神医学講座
[2] 福島県立医科大学　医学部　衛生学・予防医学講座
[3] 福島県立医科大学　こころと脳の医学講座

SS5　サテライトシンポジウム５　第 37 回小児脳機能研究会　発達性てんかん性脳症の脳波解析

11 月 12 日（木）　17:40 ～ 19:40（第 5 会場）

座長：岡西 徹（鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経小児科学分野）
座長：夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科 障害児（者）医療学寄附講座）

SS5　座長あいさつ　発達性てんかん性脳症の脳波解析

岡西 徹[1]、夏目 淳[2]
[1] 鳥取大学医学部 脳神経医科学講座脳神経小児科学分野
[2] 名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座

SS5-1　乳児てんかん性スパズム症候群の頭皮脳波解析―何がわかっていて、何がまだわかっていないのか―

金井 創太郎[1]、太田 健人[1]、大栗 聖由[2]、岡西 徹[1]、前垣 義弘[1]
[1] 鳥取大学医学部附属病院　脳神経小児科
[2] 香川県立保健医療大学　保健医療学部　臨床検査学科

SS5-2　てんかん性スパズムの頭蓋内脳波からみえる病態生理：視床皮質ネットワークを中心に

代田 惇朗[1]、菊池 健二郎[1]、成相 宏樹[2]
[1] 埼玉県立小児医療センター　神経科
[2] カルフォルニア大学ロサンゼルス校、デヴィッドゲフィン医学部小児科

SS5-3　発達性てんかん性脳症における脳波表現型の多様性と定量的脳波解析：DEE-SWAS および Lennox-Gastaut 症候群を中心に

柴田 敬
岡山大学病院　小児神経科

SS5-4　発達性てんかん性脳症の脳波と AI 解析

鈴井 良輔[1]、夏目 淳[1,2]、藤原 幸一[3,4,5]
[1] 名古屋大学大学院医学系研究科　小児科学
[2] 名古屋大学大学院医学系研究科　障害児（者）医療学寄附講座
[3] 名古屋大学工学部研究科　物質プロセス学
[4] 北海道大学　電子科学研究所
[5] 奈良先端科学技術大学院大学 メディルクス研究センター

SS6　サテライトシンポジウム 6　臨床神経生理学の視点から考える睡眠呼吸障害診療

11 月 12 日（木）　17:40 ～ 19:40（第 6 会場）

座長：野村 哲志（のむらニューロスリープクリニック）
座長：立花 直子（関西電力病院 脳神経内科・睡眠関連疾患センター）
共催：株式会社フィリップス・ジャパン

SS6-1　脳波なくして PSG なし！ー睡眠医学における脳波の意義ー

川口 典彦
国立病院機構　静岡てんかん・神経医療センター

SS6-2　閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）病態理解の変遷と CPAP 治療

三原 丈直[1,2]
[1] 関西電力病院 睡眠関連疾患センター
[2] 関西電力医学研究所 睡眠医学センター

SS6-3　午睡 CPAP titration ーリアルタイムで脳波が変わる！

立花 直子[1,2]
[1] 関西電力病院 睡眠関連疾患センター
[2] 関西電力医学研究所 睡眠医学センター

SS6-4　SAS、CPAP 治療は脳にどのような影響を与えるか

野村 哲志
のむらニューロスリープクリニック

SS7　サテライトシンポジウム 7　DBS のハンズオン

11 月 12 日（木）　17:40 ～ 19:40（第 7 会場）

座長：市川 忠（埼玉県総合リハビリテーションセンター）
共催：アボットジャパン合同会社 / 日本メドトロニック株式会社 /
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

SS7-1　Adaptive DBS の基礎

下 泰司
順天堂大学練馬病院

SS7-2　画像支援による DBS プログラミングの実際
― Vercise Neural Navigator 5 による画像支援プログラミング

木村 活生[1,3]、安部 克哉[1]、草間 香里[1]、高山 裕太郎[2]、東島 威史[2]、上田 直久[1]、土井 宏[3]
[1] 横浜市立大学　附属市民総合医療センター　脳神経内科
[2] 横浜市立大学　附属市民総合医療センター　脳神経外科
[3] 横浜市立大学　大学院　医学研究科　神経内科学・脳卒中医学

SS7-3　これから始める DBS プログラミング：Abbott DBS システムの特徴と実践

樽野 陽亮、森嶋 悠人、上野 祐司
山梨大学大学院　総合研究部　医学域　神経内科学講座

HO1　ハンズオンセミナー 1　神経生理検査よろづ相談ー検査機器に触れてみようー

11 月 12 日（木）　9:00 ～ 10:30（第 7 会場）

講師：髙橋 修（東京都リハビリテーション病院 検査科）
石郷 景子（Gifu Sleeping Labo）
木崎 直人（杏林大学付属病院 臨床検査部生理検査室）
共催：ガデリウス・メディカル株式会社 / 日本光電工業株式会社

HO2　ハンズオンセミナー 2　神経筋エコーハンズオン

11 月 12 日（木）　10:10 ～ 12:10（第 8 会場）

インストラクター：野寺 裕之（天理よろづ相談所病院 脳神経内科）
髙松 直子（徳島大学病院 脳神経内科）

神経筋エコーハンズオン　ステーション 1
講師：越智 一秀（県立広島病院 脳神経内科）
杉本 太路（広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学）
廣中 明美（広島大学 医系科学研究科　脳神経内科学）

神経筋エコーハンズオン　ステーション 2
講師：塚本 浩（けんせいクリニック）
渡辺 大祐（国立病院機構箱根病院 脳神経内科）

神経筋エコーハンズオン　ステーション 3
講師：辻 有希子（京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経内科学）
北大路 隆正（京都府立医科大学 大学院医学研究科　脳神経内科学）

神経筋エコーハンズオン　ステーション 4
講師：濱口 浩敏（北播磨総合医療センター 脳神経内科）
野田 佳克（神戸大学大学院医学系研究科 内科学講座　脳神経内科学分野）
栗原 由佳（湘南東部総合病院 診療部リハビリテーション科）

神経筋エコーハンズオン　ステーション 5
講師：関口 縁（JR 東京総合病院 脳神経内科）
北國 圭一（帝京大学 脳神経内科学講座）
原 由紀則（東京都立広尾病院 整形外科）

神経筋エコーハンズオン　ステーション 6

講師：福島 功士（和歌山生協病院 内科）
山﨑 博輝（徳島大学 脳神経内科）
木村 友彦（東京大学医学部附属病院 脳神経内科）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 / GE ヘルスケア株式会社 / 富士フイルムメディカル株式会社

HO3　ハンズオンセミナー 3　VNS コース - SenTiva を理解し使いこなす -

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 17:20（第 8 会場）

VNS 刺激調整の基本

講師：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部 脳神経内科）
コーディネーター：原 恵子（横浜こころと脳波・てんかんのクリニック）

VNS 手術から調整まで ～安全に最大効果を引き出すために～

講師：稲次 基希（東京科学大学 脳神経外科）
コーディネーター：山本 貴道（聖隷三方原病院 脳神経外科）

共催：リヴァノヴァ株式会社

HO4　ハンズオンセミナー 4　術中モニタリングのチームを作る

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 11:50（第 8 会場）

座長：遠藤 俊毅（東北医科薬科大学 脳神経外科）
演者：鷺谷 万葉（東北医科薬科大学病院 臨床工学部）
貴島 晴彦（大阪大学医学部附属病院 脳神経外科）
松岡 龍太（奈良県立医科大学附属病院 脳神経外科）
宮林 知誉（奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部）
池垣 友康（兵庫医科大学病院 麻酔科）
多和 大樹（兵庫医科大学病院 臨床工学部）
大西 巧真（岡山大学病院　医療技術部 検査部門）
杉山 邦夫（東邦大学医療センター大森病院 臨床生理機能検査室）
井澤 和美（関西医科大学附属病院 整形外科）
松下 隆史（西神戸医療センター 臨床検査技術部）
横塚 恵理子（聖マリアンナ医科大学病院 臨床工学技術部）

共催：ガデリウス・メディカル株式会社

HO5　ハンズオンセミナー 5　TMS

11 月 13 日（金）　13:10 ～ 14:40（第 8 会場）

座長：村上 丈伸（鳥取大学医学部 脳神経内科）
演者：代田 悠一郎（東京大学医学部附属病院 検査部）
清水 崇宏（東京都立神経病院脳神経内科）

共催：株式会社ミユキ技研

HO6　ハンズオンセミナー 6　痙縮のトータルマネージメント（ITB）

11 月 13 日（金）　15:00 ～ 16:30（第 7 会場）

座長：内山 卓也（近畿大学医学部 脳神経外科）
講師：谷 直樹（大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科）
松浦 慶太（三重大学医学部附属病院 脳神経内科）
齋藤 健（産業医科大学 医学部　脳神経外科学）

共催：第一三共株式会社

HO7　ハンズオンセミナー 7　MSLT を通じて PSG の解析を学ぼう

11 月 14 日（土）　10:20 ～ 12:20（第 8 会場）

座長：小栗 卓也（公立陶生病院 脳神経内科）
コーディネーター：立花 直子（関西電力病院 睡眠関連疾患センター）
ミニレクチャー：赤堀 真富果（奈良県立医科大学附属病院 睡眠医療・呼吸管理センター）
奥谷 一真（関西電力病院 検査部 / 関西電力医学研究所 睡眠医学センター）
紀戸 恵介（京都大学医学部附属病院 脳神経内科 / 関西電力医学研究所 睡眠医学センター）
大倉 睦美（朝日大学歯学部 総合医科学講座内科学）
実習担当者：小栗 卓也（公立陶生病院 脳神経内科）
大倉 睦美（朝日大学歯学部 総合医科学講座内科学）
河合 真（スタンフォード大学 精神科睡眠医学部門）
杉田 尚子（京都医療センター 精神科）
村木 久恵（朝日大学病院検査部 睡眠医療センター）
赤堀 真富果（奈良県立医科大学附属病院 睡眠医療・呼吸管理センター）
紀戸 恵介（京都大学医学部附属病院 脳神経内科 / 関西電力医学研究所 睡眠医学センター）
奥谷 一真（関西電力病院 検査部 / 関西電力医学研究所 睡眠医学センター）

共催：一般社団法人日本臨床睡眠医学会 / 日本光電工業株式会社

LS1　ランチョンセミナー 1　免疫性ニューロパチーの現在地－病態理解の深化と治療最適化－

11 月 12 日（木）　12:20 ～ 13:20（第 1 会場）

座長：畑中 裕己（帝京大学医学部 脳神経内科学講座）

LS1-1　GBS・MFS をアップデートする　－病態と治療の新知見－

水地 智基
千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学

LS1-2　免疫性ニューロパチーの多様性　－ CIDP・MMN の病態理解と治療最適化－

深見 祐樹
名古屋大学糖鎖生命コア研究所／名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

共催：武田薬品工業株式会社

LS2　ランチョンセミナー 2

11 月 12 日（木）　12:20 ～ 13:20（第 2 会場）

座長：神 一敬（東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能学分野）

LS2　てんかんと睡眠－日常診療で何に着目するか－

向野 隆彦
九州大学大学院医学研究院　神経内科学教室

共催：ユーシービージャパン株式会社 メディカルアフェアーズ本部

LS3　ランチョンセミナー 3

11 月 12 日（木）　12:20 ～ 13:20（第 4 会場）

座長：松本 理器（京都大学大学院医学研究科 臨床神経学）

LS3　Cenobamate が切り拓くてんかん治療

赤松 直樹
国際医療福祉大学医学部 脳神経内科

共催：小野薬品工業株式会社

LS4　ランチョンセミナー 4　脊椎脊髄手術における術中脊髄モニタリング

11 月 12 日（木）　12:20 ～ 13:20（第 5 会場）

座長：川端 茂徳（東京科学大学 先端技術医療応用学講座）

LS4-1　脊椎疾患に併用する Tc-MEP を中心とするマルチモダリティ神経モニタリング：波形低下時の考え方と対処法

重松 英樹
奈良県立医科大学 整形外科学

LS4-2　臨床における術中脊髄モニタリングの現状と未来

吉田 剛
浜松医療センター 整形外科

共催：日本メドトロニック株式会社

LS5　ランチョンセミナー 5

11 月 13 日（金）　12:00 ～ 13:00（第 1 会場）

座長：夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 /
成長発達医学 障害児（者）医療学寄附講座）

LS5　小児期発症薬剤抵抗性てんかん患者の成人期における治療戦略

神 一敬
東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能学分野

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

LS6　ランチョンセミナー６

11 月 13 日（金）　12:00 ～ 13:00（第 2 会場）

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学）

LS6　てんかん薬物治療におけるペランパネルの臨床的位置付け

金村 英秋
東邦大学医学部 小児科学講座（佐倉）

共催：エーザイ株式会社

LS7　ランチョンセミナー７　CIDP の最適治療を考える

11 月 13 日（金）　12:00 ～ 13:00（第 4 会場）

座長：野寺 裕之（天理よろづ相談所病院 脳神経内科 神経筋疾患センター）

LS7-1　患者ニーズに応える CIDP 診療とヒフデュラ使用経験

廣瀬　文吾
札幌医科大学医学部 内科学講座 神経内科学分野

LS7-2　CIDP における伝導障害と形態異常

國分 則人
獨協医科大学　脳神経内科

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

LS8　ランチョンセミナー８

11 月 14 日（土）　12:30 ～ 13:30（第 2 会場）

座長：山﨑 亮（愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座）

LS8　分子標的薬時代に考えるこれからの MG 治療

櫻井 謙三
聖マリアンナ医科大学 脳神経内科

共催：アレクシオンファーマ合同会社

LS9　ランチョンセミナー９

11 月 14 日（土）　12:30 ～ 13:30（第 3 会場）

座長：畑中 裕己（帝京大学医学部 脳神経内科）

LS9　gMG 治療のこれからの期待　～アイマービーの特性と使い方～

松井 尚子
徳島大学大学院　医歯薬学研究部 臨床神経科学分野

共催：Johnson & Johnson ヤンセンファーマ株式会社

LS10　ランチョンセミナー 10

11 月 14 日（土）　12:30 ～ 13:30（第 4 会場）

座長：神 一敬（東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能学分野）

LS10　てんかん症候群の脳波を読む - 特徴的所見と薬物療法の実際 -

赤松 直樹

国際医療福祉大学医学部 脳神経内科

共催：日本新薬株式会社

一般演題（口演）1　眼球運動

11 月 12 日（木）　10:40 ～ 11:20（第 6 会場）

座長：城倉 健（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脳神経内科）

O1-01　中枢性頭位眼振患者における前庭眼反射

○城倉 健[1]、城野 誉士[1]、高橋 幸治[2]、田中 理[2]

[1] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　脳神経内科、[2] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床検査部

O1-02　視運動性刺激が追従性眼球運動に与える影響：前庭神経核反応性の左右差

○城野 誉士[1]、高橋 幸治[2]、城倉 健[1,2]

[1] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　脳神経内科、[2] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床検査部

O1-03　Premature saccade における進行方向の経時的変化

○徳重 真一[1,2]、松田 俊一[2,3]、寺田 さとみ[2,4]、濱田 雅[2]、宇川 義一[5,6]、辻 省次[2,7]、寺尾 安生[2,4]

[1] 杏林大学　脳神経内科、[2] 東京大学　脳神経内科、[3] 国立国際医療センター　脳神経内科、[4] 杏林大学　病態生理学、[5] 福島県立医科大学　システム神経科学、[6]NHO 福島病院　神経内科、[7] 国際医療福祉大学　ゲノム医学研究所

O1-04　斜め方向 saccade の運動特性

○高橋 幸治[1]、城野 誉士[2]、横山 貴子[3]、城倉　健[1,2]

[1] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床検査部、[2] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　脳神経内科、[3] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床研究部

O1-05　瞬目反射の A-delta 線維刺激によるプレパルス抑制の臨床応用について

○藤田 雄輝[1]、山羽 亜美[1]、葛西 彩理[1]、塚本 実奈子[1]、中山 享之[1]、藤田 貢平[2]、乾 幸二[3]、牛田 享宏[4]、西原 真理[4]

[1] 愛知医科大学病院　中央臨床検査部、[2] 愛知医科大学　医学部　精神学講座、[3] 愛知県異様療育総合センター　発達障害研究所　障害システム研究部門、[4] 愛知医科大学　医学部　疼痛医学講座

一般演題（口演）2　体性感覚誘発電位

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 16:30（第 7 会場）

座長：黒川 勝己（川崎医科大学総合医療センター 総合内科学 1 ）

O1-06　正中神経体性感覚誘発電位における lcP13 電位の同定が局在診断に有用だった環軸椎亜脱臼 4 症例

○山田 一貴[1]、藤井 勇基[2]、松倉 清司[2]、神林 隆道[2]、海永 光洋[1]、代田 悠一郎[1,3]、濱田 雅[1]、小林 俊輔[2]、園生 雅弘[2,4]

[1] 東京大学医学部附属病院　脳神経内科、[2] 帝京大学医学部　脳神経内科、[3] 東京大学医学部附属病院　検査科、[4] 帝京大学医療技術学部　視能矯正学科

O1-07　急性期脳卒中症例における体性感覚誘発電位二連発抑制比と体性感覚機能との関連

○渡邉 拓[1]、井上 大聖[1]、小島 翔[2,3]、久保田 雅史[4]、松尾 英明[1]、松村 真裕美[1]、小谷 奏空[1]、井川 正道[5]、有島 英孝[6]、大西 秀明[2,3]

[1] 福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部、[2] 新潟医療福祉大学　運動機能医科学研究所、[3] 新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部理学療法学科、[4] 金沢大学　医薬保健研究域保健学系理学療法科学講座、[5] 福井大学医学部附属病院　脳神経内科、[6] 福井大学医学部附属病院　脳神経外科

O1-08　脊髄 MRI に異常を伴わない脊髄癆の診断における脛骨神経 SEP の有用性

○松倉 清司、北國 圭一、千葉 隆司、神林 隆道、畑中 裕己、小林 俊輔、園生 雅弘
帝京大学医学部附属病院　脳神経内科

O1-09　正中神経刺激体性感覚誘発電位の P11 形成における神経走行の方向変化の関与：頭頸部電位分布マップと磁場解析による検討

○大谷 泰[1]、尾崎 勇[1,2]、渡部 泰士[1]、赤座 実穂[3]、足立 善昭[4]、関原 謙介[1]、川端 茂徳[1]

[1] 東京科学大学　先端技術医療応用学講座、[2] 弘前医療福祉大学保健学部　医療技術学科 言語聴覚学専攻、[3] 東京科学大学　生命情報応用学分野、[4] 金沢工業大学　先端電子技術応用研究所

O1-10　姿勢制御時の体性感覚ゲーティング　―刺激前の瞬時脳活動による調節―

○藤尾 公哉[1]、小幡 博基[2]、秤谷 名鷹[1]、河島 則天[1]

[1] 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、[2] 九州工業大学教養教育院

一般演題（口演）3　運動ニューロン疾患

11 月 12 日（木）　16:40 ～ 17:20（第 7 会場）

座長：澁谷 和幹（千葉大学 脳神経内科）

O1-11　脳神経内科にて診断しヌシネルセン治療中の脊髄性筋萎縮症（SMA）3 型の電気生理所見：運動単位数推定も含めて

○森 仁[1,2,3]

[1] 水島中央病院　脳神経内科、[2] 岡山東部脳神経外科東備クリニック脳神経内科、[3] 岡山東部脳神経外科病院脳神経内科

O1-12　球脊髄性筋萎縮症における運動神経軸索興奮性と症状進行速度の関係

○奈良 猛[1,2]、澁谷 和幹[2]、水地 智基[2]、黒岩 良太[1]、村田 淳[1]、桑原 聡[2,3]

[1] 千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部、[2] 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学、[3] 千葉大学災害治療学研究所

O1-13　筋萎縮性側索硬化症における低頻度反復刺激の減衰様式と運動単位の関連

○鳥谷 直紀[1,2]、阿部 達哉[1]、山内 理香[1]、渡辺 大祐[1]、北尾 るり子[1]、大熊 彩[1]、北村 美月[1]、木村 俊紀[1]、今井 富裕[1]

[1]国立病院機構　箱根病院　神経筋・難病医療センター、[2]慶應義塾大学　神経内科

O1-14　脊髄性筋萎縮症の呼吸障害は横隔膜ではなく肋間筋障害が主体である ― 神経伝導・超音波・CTによる検討

○上月 惇、関口 兼司、杉澤 良介、田中 智子、野田 佳克、千原 典夫

神戸大学大学院医学系研究科　内科学講座　脳神経内科学分野

O1-15　超音波エラストグラフィによるALS舌筋弾性率の経時的変化の検討

○柳川 香織[1]、池 真樹子[2]、青山 あずさ[1]、横尾 健[3]、寺井 崇二[4]、林 孝文[2]、小野寺 理[1]

[1]新潟大学脳研究所　脳神経内科、[2]新潟大学大学院　医歯学総合研究科　顎顔面放射線学分野、[3]新潟大学大学院　医歯学総合研究科　健康長寿延伸・消化器疾患先制医学講座、[4]新潟大学大学院　医歯学総合研究科　消化器内科学分野

一般演題（口演）4　AI・機械学習・情報処理

11月13日（金）　8:30～9:26（第6会場）

座長：大西 秀明（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部）

O2-01　近位型頚椎症性筋萎縮症の保存治療予後予測モデル：CMAP併用モデルと臨床・画像情報のみの機械学習モデルの比較

○舩場 真裕[1]、鈴木 秀典[1]、今城 靖明[2]、米村 浩[3]、藤本 和弘[1]、西田 周泰[1]、坂井 孝司[1]

[1]山口大学　整形外科、[2]JCHO徳山中央病院　整形外科、[3]小郡第一総合病院　整形外科

O2-02　針筋電図の半自動運動単位分解同定ツールの開発

○関口 兼司[1]、野田 佳克[1,2]

[1]神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科、[2]中田医院

O2-03　複合筋活動電位からの運動神経伝導速度分布推定における物理情報注意機構の有用性

○野寺 裕之

天理よろづ相談所病院　神経筋疾患センター

O2-04　ウェーブレット解析を用いた単チャネル表面筋電図による線維束収縮関連活動の非侵襲的検出

○向野 隆彦[1,2]、永井 秀利[2]、小早川 優子[1,3]、江 千里[1]、岩尾 和紀[1]、飯田 紘太郎[1]、入江 剛史[1]、稲水 佐江子[1]、永田 諭[1]、田中 栄蔵[1]、倉沢 亮[1]、竹内 創[1]、宮崎 愛理[1]、磯部 紀子[1]、重藤 寛史[4]

[1]九州大学大学院　医学研究院　神経内科学、[2]九州工業大学大学院　情報工学研究院　知能情報工学研究系、[3]九州大学病院　ARO次世代医療センター、[4]九州大学大学院　医学研究院　保健学部門検査技術科学分野

O2-05　服薬アドヒアランスモニタリングに向けたデジタル内服薬からの非接触磁場検出

○此松 和俊[1,2]、石田 誠[1,3]、窪田 崇秀[3]、我妻 宏[3]、藤原 耕輔[4]、遠藤 基[3]、北條 峻之[3]、松崎 斉[4]、横井 一真[5]、大八木 優[5]、大塚 怜[5]、山根 育郎[5]、Withrington Jonathan[6]、Thompson Todd[6]、神野 淳一[5]、大西 弘二[5]、中里 信和[7]、浮城 一司[1]、神 一敬[1]、大兼 幹彦[3]、安藤 康夫[3]

[1]東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野、[2]東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野、[3]東北大学大学院工学研究科応用物理学専攻、[4]スピンセンシングファクトリー株式会社、[5]大塚製薬株式会社、[6]Otsuka America Pharmaceutical, Inc.、[7]広南病院

O2-06　脳波自動判読プログラムの validation: 専門医視察判読との比較

○戸島 麻耶[1,2,3]、邉見 名見子[2,3]、宮崎 健輔[3]、小野 通夫[3]、友田 陽子[2,3]、池田 直廉[4]、杉 剛直[5]、西田 茂人[6]、長峯 隆[7]、小島 康祐[3]、神藏 祐介[8]、松橋 眞生[9]、松本 理器[1,10]、池田 昭夫[2,10]

[1] 京都大学大学院医学研究科　臨床神経学、[2] 医仁会武田総合病院　脳神経内科てんかん診療センター、[3] 医仁会武田総合病院　脳神経内科、[4] 医仁会武田総合病院　脳神経外科、[5] 佐賀大学　理工学部　工学系研究科システム制御・生体医工学、[6] 元　福岡工業大学　情報工学部　情報通信工学科、[7] 恒心会おぐら病院　脳神経内科、[8] 日本光電工業株式会社　脳神経事業統括部、[9] 神戸大学大学院医学系研究科　医療創成工学専攻 医療機器学講座、[10] 京都大学大学院医学研究科　てんかん・運動異常生理学

O2-07　音声・顔面動画のマルチモーダル統合解析による、大脳基底核・小脳障害患者の発話特性の評価と分類精度の検討

○小谷 理紗[1]、瀬戸 瑛子[1,2]、海永 光洋[1]、代田 悠一郎[1,3]、長島 優[4]、小野寺 宏[5]、矢谷 浩司[6]、濱田 雅[1]

[1] 東京大学大学院医学系研究科　神経内科学、[2]JR 東京総合病院 リハビリテーション科、[3] 東京大学医学部附属病院　検査部、[4] 浜松医科大学　光医学総合研究所　光トランスレーショナルリサーチ推進部門 光生体医工学分野、[5] 自治医科大学医学部病理学講座　包括病態病理学部門、[6] 東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻

一般演題（口演）5　てんかん（1）

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 10:42（第 6 会場）

座長：前垣 義弘（鳥取大学 脳神経医科学講座 脳神経小児科学分野）

O2-08　頭蓋内電極記録における発作前変化の統計数理解析

○岡崎 彰良[1]、松本 航[2,3]、中島 聡史[4]、山田 絵美[5]、迎 伸孝[6]、酒田 あゆみ[3,7]、重藤 寛史[2,7]、川野 秀一[8]

[1] 統計数理研究所 統計基盤数理研究系、[2] 九州大学 大学院医学研究院神経内科学、[3] 九州大学病院 検査部、[4] 九州大学 大学院マス・フォア・イノベーション連係学府、[5] 新潟医療福祉大学 医療情報経営学部 健康データサイエンス学科、[6] 九州大学 大学院医学研究院脳神経外科、[7] 九州大学大学院医学系学府 保健学部門 検査技術科学分野、[8] 九州大学 大学院数理学研究院

O2-10　睡眠紡錘波から考察する迷走神経刺激療法の作用機序

○関口 郁奈子、中島 翠、山田 聡、後藤 健、中久保 佐千子、植田 佑樹、江川 潔
北海道大学病院　小児科

O2-11　焦点てんかんにおける発作時意識保持機構の解明
—意識障害に対する視床ニューロモデュレーションを見据えて—

○高山 裕太郎[1,2]、上原 一将[3]、Karim Mithani[1]、本田 純也[1,3]、北城 圭一[4,5]、岩崎 真樹[6]、山本 哲哉[1]、Hiroshi Otsubo[1]、Ayako Ochi[1]、George Ibrahim[1]

[1] トロント小児病院　附属研究所　ニューロサイエンス部門、[2] 横浜市立大学 大学院医学研究科 脳神経外科、[3] 豊橋技術科学大学　情報・知能工学系、[4] 生理学研究所　システム脳科学研究領域　神経ダイナミクス研究部門、[5] 総合研究大学院大学　先端学術院　生理科学コース、[6] 国立精神・神経医療研究センター病院　脳神経外科

O2-12　超難治性てんかん重積状態に対し外科治療を要した症例の臨床像と発作時脳波所見の検討

○迎 伸孝[1]、桑原 和久[1]、下川 能史[2]、向野 隆彦[3]、渡邉 恵利子[4]、酒田 あゆみ[4,5]、森岡 隆人[6]、重藤 寛史[3,5]、吉本 幸司[1]

[1]九州大学大学院医学研究院脳神経外科、[2]新古賀病院　脳神経外科、[3]九州大学大学院医学研究院脳神経内科、[4]九州大学病院　検査部、[5]九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野、[6]蜂須賀病院　脳神経外科

一般演題（口演）6　脳波一般・二次解析

11月13日（金）　11:00 ～ 11:56（第6会場）

座長：重藤 寛史（九州大学 医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野）

O2-13　高密度脳波データにおける網羅的サンプルエントロピー解析を用いた非侵襲的言語優位半球評価の試み

○川内 雄太[1,2]、佐藤 洋輔[1,3]、田中 宏浩[3]

[1]昭和医科大学　脳神経外科学講座、[2]柏たなか病院　脳神経外科、[3]昭和医科大学脳機能解析・デジタル医科学研究所

O2-14　幻肢痛に特徴的な安静時脳波ネットワーク
－ Sensorimotor network と Triple network の異常な結合－

○大住 倫弘[1]、住谷 昌彦[3]、高村 優作[3,4]、森川 雄生[1]、佐々木 遼[2]

[1]畿央大学大学院健康科学研究科、[2]畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター、[3]東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部、[4]Paris Brain Institute

O2-15　発作間欠期棘波と皮質皮質間誘発電位の伝播動態類似度による棘波発生源推定

○三橋 匠[1]、鈴木 皓晴[1,2]、上田 哲也[1,2]、西岡 和輝[1,2]、野村 和希[1,2]、高木 悠輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、中島 円[1,2]、菅野 秀宣[1,2]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1]順天堂大学医学部脳神経外科、[2]順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

O2-16　施設間差の影響を受けにくい脳波ノルマティブモデルの構築

○宮地 渚[1]、田村 俊介[1]、樋口 悠子[2]、藤元 貴子[1]、三笘 良[4]、中島 振一郎[3]、高橋 努[2]、平野 羊嗣[1]

[1]宮崎大学　医学部　臨床神経科学講座　精神医学分野、[2]富山大学 学術研究部医学系 神経精神医学講座、[3]慶應義塾大学　医学部 精神・神経科学教室、[4]九州大学病院 精神科神経科

O2-17　嗅覚刺激による脳活動、認知機能への影響

○高阪 勇輔[1]、小倉 礼[1,2]、田中 まゆ[1]、鈴木 将史[1]、武重 万里子[1]、森田 萌丹[1]、大橋 美沙[1]、杉浦 宗次郎[3]、船戸 美希[3]、小林 憲正[3]、田中 敬子[3]、バガリナオ エピファニオ[2]、寶珠山 稔[2]、勝野 雅央[1]

[1]名古屋大学大学院　医学系研究科　神経内科学、[2]名古屋大学　脳とこころの研究センター、[3]トヨタ自動車株式会社

O2-18　Phase-Amplitude Coupling および機能的結合解析による欠神発作時ネットワーク動態の解明

○上田 哲也[1]、西岡 和輝[1,2]、野村 和希[1,2]、三橋 匠[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、菅野 秀宣[2,3]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1]順天堂大学、[2]順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター、[3]スガノ脳神経外科クリニック

O2-19　認知機能ドメインと対応する脳波特徴量の抽出

○甲田 一馬[1]、森本 耕平[2,5]、沖 侑大郎[3]、熊谷 諒子[4]、千原 典夫[5]、古和 久朋[4]、松本 理器[1]

[1]京都大学大学院医学研究科　臨床神経学、[2]神戸大学大学院医学系研究科　バイオリソース・ヘルスケア統合解析科学、[3]神戸大学大学院医学系研究科　未来社会医学専攻、[4]神戸大学大学院医学研究科　健康科学専攻、[5]神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科学

一般演題（口演）7　意識障害（神経救急・脳死を含む）

11月13日（金）　13:10 ～ 14:06（第6会場）

座長：向野 隆彦（九州大学大学院医学研究院 神経内科学）

O2-20　通常脳波検査で非けいれん重積状態と診断された認知症患者4例

○村岡 範裕[1,2]、川場 知幸[1,2]、古田 啓一郎[1,2]、坂田 清彦[2]

[1]社会保険田川病院　脳神経外科、[2]久留米大学医学部　脳神経外科

O2-21　心肺停止蘇生後の意識障害患者における脳波所見と神経学的予後の検討

○岡橋 友美子[1]、竹本 聖[2]、杉町 仁[3]、鈴木 奏穂[3]、赤井 千秋[3]、原田 直宏[3]、今西 佑季[3]、林田 英子[3]、原田 譲[3]、安宅 一晃[2]、中村 文彦[2]、川原 誠[1]

[1]奈良県総合医療センター　脳神経内科、[2]奈良県総合医療センター　集中治療科、[3]奈良県総合医療センター　臨床検査部

O2-22　Critical Care EEG: 非けいれん性てんかん重積検出の実際

○大友 智[1]、加藤 量広[2]、三浦 祐太郎[3]、小野寺 隼人[3]、井上 敬[1]、庄司 薫[1]

[1]みやぎ県南中核病院　脳神経外科、[2]みやぎ県南中核病院　脳神経内科、[3]みやぎ県南中核病院　検査診療部　検査部

O2-23　脳波ノルマティブモデルを用いた敗血症関連せん妄症状の個別評価

○東雲 崇之[1]、田村 俊介[2]、宮地 渚[2]、藤元 貴子[2]、梅北 邦彦[3]、樋口 悠子[4]、中島 振一郎[5]、落合 秀信[1]、平野 羊嗣[2]

[1]宮崎大学　医学部　病態解析医学講座　救急・災害医学分野、[2]宮崎大学　医学部　臨床神経科学講座　精神医学分野、[3]宮崎大学　医学部　内科学講座　呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科分野、[4]富山大学　学術研究部医学系　神経精神医学講座、[5]慶應義塾大学　医学部　精神・神経科学教室

O2-24　けいれん性てんかん重積状態における視床枕DWI高信号の臨床的意義：
非けいれん性てんかん重積状態への移行との関連

○上利 大、土本 猛寛、小谷 楓子、木本 和希、大野 成美、渡邉 友彬、江藤 太、河野 智之、上野 弘貴、野村 栄一

広島市立広島市民病院　脳神経内科

O2-25　Ictal-Interictal Continuumにおける退院時神経学的予後と病因の関連：
多施設共同レジストリ研究

○佐藤 達哉[1]、音成 秀一郎[2]、大野 成美[2]、松原 崇一朗[3]、十河 正弥[4]、芦崎 太一朗[4]、大山 哲弥[5]、池田 宗平[6]、松浦 啓[7]、赤松 伸太郎[8]、柴田 治人[9]、寺澤 由佳[1]

[1]脳神経センター大田記念病院　脳神経内科、[2]広島大学病院　脳神経内科、[3]熊本大学病院　脳神経内科、[4]神戸大学医学部附属病院　脳神経内科、[5]市立四日市病院　脳神経内科、[6]関西医科大学附属病院　脳神経内科、[7]京都第二赤十字病院　脳神経内科、[8]聖マリアンナ医科大学病院　脳神経内科、[9]名古屋市立大学医学部附属東部医療センター　脳神経内科

O2-26　救急集中治療領域における緊急脳波検査の 10 年間の実態評価

○野崎 晶太[1,2]、音成 秀一郎[3]、石橋 はるか[3]、小山 由実[1,2]、入江 亜美[1,2]、荒瀬 隆司[1,2]、茂久田 翔[1]

[1] 広島大学病院　検査部、[2] 広島大学病院　診療支援部、[3] 広島大学病院　脳神経内科

一般演題（口演）8　てんかん（2）

11 月 13 日（金）　14:20 ～ 15:16（第 6 会場）

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学 医学部脳神経内科）

O2-27　Ictal-Interictal Continuum（IIC）を呈した脳卒中関連てんかん発作の臨床的特徴と予後

○川上 治、加藤 隼康、岸本 祥之、伊藤 雅也、伊藤 峻一郎、川島 知浩、反頭 康裕、近藤 圭祐、榊原 颯介、宮田 花梨、古池 保雄

安生更生病院　脳神経内科

O2-28　てんかん患者と失神患者との頭皮上脳波検査所見の比較

○進村 光規、角 健次朗、西原 拓弥、田代 匠、司城 昌大、高瀬 敬一郎

飯塚病院脳神経内科

O2-29　睡眠時随伴症を疑われた成人てんかん例の検討

○庄子 泰代、香坂 雅子、水井 美樹、福田 紀子、石金 朋人

特定医療法人朋友会　石金病院

O2-30　光刺激時の harmonics は良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん（BAFME）の脳波バイオマーカー候補となりうる

○真田 悠希[1]、戸島 麻耶[2,3]、宇佐美 清英[2,4]、甲田 一馬[1]、小林 勝哉[1,2]、松橋 眞生[1,5]、池田 昭夫[1,6]、松本 理器[1]

[1] 京都大学大学院　医学研究科　臨床神経学、[2] 京都大学医学部附属病院　脳神経内科、[3] 京都大学大学院　医学研究科　呼吸管理睡眠制御学、[4] 京都大学大学院　医学研究科　臨床病態検査学、[5] 神戸大学大学院　医学系研究科　医療創成工学専攻　医療機器学講座、[6] 医仁会　武田総合病院　脳神経内科　てんかん診療センター

O2-31　長時間ビデオ脳波でみた成人ダウン症候群における臨床脳波的特徴

○曽我 天馬、曽我 海馬、荒谷 菜海、大槻 泰介、曾我 孝志

てんかん専門病院ベーテル　てんかん内科

O2-32　側頭葉てんかんにおける長期遅延後記憶保持の特徴—modified RBANS を用いた探索的検討

○萩原 真斗[1,2,3]、川口 典彦[1]、西田 拓司[1]、増井 永実[4]、笠井 良修[4]、松井 三枝[5]、土井 宏[2]、田中 章景[2]、臼井 直敬[1]

[1]NHO　静岡てんかん・神経医療センター　てんかん科、[2] 横浜市立大学大学院医学研究科　神経内科学・脳卒中医学、[3] 平塚共済病院　脳神経内科、[4]NHO　静岡てんかん・神経医療センター　心理発達支援室、[5] 新潟医療福祉大学　心理・福祉学部　心理健康学科

O2-33　欠神てんかん患者を対象とした頭皮上脳波における ictal DC shift と棘徐波複合との関連

○前田 圭介[1]、山口 峻汰[2]、坪井 日茉里[3]、細田 奈未[3]、福本 純一[3]、藤田 志保[3]、市野 直浩[1,2]、刑部 恵介[1,2]、杉本 恵子[2,4]、古川 源[5]、石原 尚子[5]

[1] 藤田医科大学　医療科学部　生体機能解析学分野、[2] 藤田医科大学大学院　医療科学研究科、[3] 藤田医科大学病院　臨床検査部、[4] 藤田医科大学　医療科学部　教育企画分野、[5] 藤田医科大学　医学部　小児科学

一般演題（口演）9　てんかん（3）

11 月 13 日（金）　15:30 ～ 16:18（第 6 会場）

座長：稲次 基希（東京科学大学 脳神経外科）

O2-34　SEEG で同定された発作焦点に対する定位温熱凝固術による治療戦略

○白水 洋史[1,2,3]、萩原 綱一[3,4]、上原 平[3,4]、三好 絢子[3,4]、山口 高弘[3,4]

[1] 福岡山王病院　脳神経外科、[2] 福岡山王病院　機能脳神経外科センター、[3] 福岡山王病院　てんかん・すいみんセンター、[4] 福岡山王病院　脳神経内科

O2-35　SEEG 留置後に認められる implantation/microlesion effect の臨床的検討

○野村 和希[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、三橋 匠[1,2]、上田 哲也[1,3]、西岡 和輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、菅野 秀宣[1,2,4]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター、[2] 順天堂大学医学部脳神経外科、[3] 順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経外科、[4] スガノ脳神経外科クリニック

O2-36　SEEG ダイナミックトラクトグラフィーによる多様な脳領域および病因の発作間欠期てんかん性放電信号源推定

○三橋 匠[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、上田 哲也[1,2]、西岡 和輝[1,2]、野村 和希[1,2]、高木 悠輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、中島 円[1,2]、菅野 秀宣[1,2]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学医学部脳神経外科、[2] 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

O2-37　SEEG を用いたてんかん発作起始推定における Human-in-the-Loop 型パラメータ最適化

○濱崎 一[1,2]、藤原 幸一[1,3]、石崎 友崇[2]

[1] 奈良先端科学技術大学院大学　附属メディカルクス研究センター、[2] 名古屋大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学、[3] 北海道大学　電子科学研究所

O2-39　SEEG 皮質刺激で誘発される Afterdischarge の局在診断的意義

○横佐古 卓、神部 茉由、久保田 有一

東京女子医科大学附属足立医療センター　脳神経外科

O2-40　SEEG を用いた側頭葉てんかん発作前ネットワーク動態の時空間因果性解析

○折原 あすみ[1]、稲次 基希[1]、小池 康晴[2]

[1] 東京科学大学脳神経外科、[2] 東京科学大学 総合研究院

一般演題（口演）10　精神疾患

11 月 14 日（土）　8:30 ～ 9:26（第 6 会場）

座長：志賀 哲也（福島県立医科大学 神経精神医学講座）

O3-01　脳波複雑性に基づく統合失調症の NMDA 受容体関連バイオタイプの探索

○玉田 達大[1]、田村 俊介[1]、鴻池 菜保[2]、中島 振一郎[3]、樋口 悠子[4]、平野 羊嗣[1]

[1] 宮崎大学　医学部　臨床神経科学講座　精神医学分野、[2] 京都大学　白眉センター、[3] 慶應義塾大学　医学部　精神神経科、[4] 富山大学　学術研究部医学系　神経精神医学講座

O3-02　認知機能と脳ネットワーク構造のスモールワールド特性の関連
―安静時脳波を用いた疾患横断的解析―

○佃 万里、池田 俊一郎、加藤 正樹

関西医科大学総合医療センター　精神神経科

O3-03　アジア国際 TMS レジストリを利活用した後方視的観察研究 2026

○野田 賀大
国際医療福祉大学　三田病院

O3-04　治療抵抗性うつ病における mECT 前後のラウドネス依存性聴覚誘発電位の変化

○藤田 貢平[1]、杉本 裕子[1]、藤田 雄輝[3]、山羽 亜実[3]、葛西 彩理[3]、宮田 淳[1]、西原 真理[2]
[1]愛知医科大学　精神科学講座、[2]愛知医科大学病院　いたみセンター、[3]愛知医科大学病院　臨床検査部

O3-05　統合失調症における持続長ミスマッチ陰性電位と意味記憶の関係

○和田 歩[1]、星野 大[2]、吉村 直記[3]、住吉 太幹[1]
[1]国立精神・神経医療研究センター　精神保健研究所　児童・予防精神医学研究部、[2]福島県立医科大学　医学部　神経精神医学講座、[3]国立精神・神経医療研究センター　病院　精神リハビリテーション部

O3-06　強迫性スペクトラム障害へのドパミン作動性薬物治療：機能性ジストニア

○松本 真一[1]、小泉 英貴[1]、島津 秀紀[2]、後藤 恵[2]
[1]大阪脳神経外科病院　脳神経内科、[2]武庫川女子大学　薬学部・病態生理学講座

O3-07　統合失調症の早期段階における 40Hz 聴性定常反応（ASSR）の縦断的変化

○塩田 怜士[1]、切原 賢治[1,2]、岸上 泰己[1,2]、越山 太輔[1]、笠井 清登[1]
[1]東京大学医学部附属病院　精神神経科、[2]東京大学多様性包摂共創センター

一般演題（口演）11　リハビリテーション

11 月 14 日（土）　8:30 ～ 9:26（第 7 会場）

座長：寺田 さとみ（杏林大学 医学部　病態生理学）

O3-08　単回の有酸素運動が失語症患者の神経活動および言語機能に与える効果：
ランダム化クロスオーバー試験

○高津 亘広[1,2]、川上 途行[2,3]、岩間 清太朗[4]、天野 麻理子[1,2]、徳山 明子[2]、近藤 国嗣[2,3]、
辻 哲也[3]
[1]慶應義塾大学　大学院　医学研究科、[2]東京湾岸リハビリテーション病院　リハビリテーション科、[3]慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室、[4]慶應義塾大学　理工学部　生命情報学科　リハビリテーション神経科学研究室

O3-09　脳卒中後手指感覚機能不全者に対する振動フィードバックの介入効果検証
－多層ベースライン法を用いて－

○北井 拳[1,2]、西ヶ谷 嘉一[3]、溝本 恭久[4]、伊藤 大輝[5]、兒玉 隆之[6]
[1]京都橘大学　健康科学研究科　健康科学部、[2]舞鶴赤十字病院リハビリテーション科、[3]善常会リハビリテーション病院、[4]渡辺病院、[5]近江温泉病院、[6]京都橘大学　健康科学研究科　健康科学部

O3-10　リズム聴覚刺激が歩行周期依存的な脳－筋連関に及ぼす影響

○野嶌 一平[1]、松井 佑介[2]、美馬 達哉[3]、植木 美乃[4]
[1]名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学選考、[2]東海国立大学機構 糖鎖生命コア研究所 統合生命医科学糖鎖研究センター、[3]立命館大学大学院 先端総合学術研究科、[4]名古屋市立大学 医学研究科 リハビリテーション医学分野

O3-11　光ポンピング脳磁計による把握運動のイメージおよび準備動作中の脳活動評価

○高橋 香穂[1,2]、渡辺 隼人[3,4]、下條 暁司[4]、酒井 弘[5]、齊藤 卓弥[6]、横澤 宏一[4]

[1]北海道大学大学院保健科学院、[2]社会医療法人医仁会中村記念南病院、[3]情報通信研究機構未来ICT研究所脳情報通信融合研究センター、[4]北海道大学大学院保健科学研究院、[5]早稲田大学理工学術院、[6]北海道大学病院子どものこころと発達センター

O3-12　純粋小脳型の遺伝性脊髄小脳変性症ではサッカードの順応は保たれているか

○寺田 さとみ[1]、冨樫 尚彦[2]、市川 弥生子[3]、花島 律子[4]、長谷川 一子[2]、濱田 雅[5]、宇川 義一[1,6,7]、寺尾 安生[1]

[1]杏林大学　病態生理学、[2]国立相模原病院　脳神経内科、[3]杏林大学　脳神経内科学、[4]鳥取大学　脳神経内科、[5]東京大学　脳神経内科、[6]福島県立医科大学　システム神経科学、[7]福島病院脳神経内科

O3-13　経頭蓋交流刺激と神経筋電気刺激の併用による慢性期脳卒中重度上肢麻痺リハビリテーション治療

○田代 祥一[1,2]、武見 充晃[3]、山田 深[1]、辻 哲也[2]

[1]杏林大学医学部リハビリテーション医学教室、[2]慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室、[3]広島大学先進理工系科学研究科

O3-14　手掌への振動刺激による皮質脊髄興奮性の経時的変化

○黒仁田 武洋[1]、衛藤 誠二[2]、河村 健太郎[2]

[1]鹿児島大学病院　リハビリテーション部、[2]鹿児島大学院　医歯学総合研究科　リハビリテーション医学

一般演題（口演）12　脳機能解析

11月14日（土）　9:40 ～ 10:36（第6会場）

座長：小林 勝哉（京都大学 医学部附属病院脳神経内科）

O3-15　指タイピングBCIにより明らかとなった技能獲得関連神経活動変化

○橋本 洋章[1,2,3]、Jude Justin J.[3,4]、Levi-Aharoni Hadar[3,4]、Williams Ziv M.[5]、Simeral John D.[4]、Hochberg Leigh R.[3,4]、Rubin Daniel B.[3]

[1]兵庫県立西宮総合医療センター　脳神経外科、[2]大阪大学大学院医学系研究科　脳機能診断再建学共同研究講座、[3]Massachusetts General Hospital, Department of Neurology, Center for Neurotechnology and Neurorecovery、[4]Brown University, School of Engineering、[5]Massachusetts General Hospital, Department of Neurosurgery

O3-16　海馬シータ・ガンマ位相コーディングは順序記憶情報処理に関わる：定位的頭蓋内脳波研究

○武山 博文[1]、甲田 一馬[1]、宇佐美 清英[2]、小林 勝哉[1]、澤田 眞寛[3]、菊池 隆幸[3]、松本 理器[1]

[1]京都大学　大学院医学研究科　臨床神経学、[2]京都大学　大学院医学研究科　検査部、[3]京都大学　大学院医学研究科　脳神経外科学

O3-17　PCC − mPFC結合を標的としたMEGニューロフィードバックによる運動系列学習の改善

○川添 隆伸[1,2]、ワン ユーハオ[2,3]、福間 良平[2]、高橋 正紀[1]、柳澤 琢史[2]

[1]大阪大学大学院　医学系研究科　保健学専攻、[2]大阪大学大学院　医学系研究科　神経情報学、[3]Beijing Institute of Technology, School of Computer Science & Technology

O3-18　SMA 前頭内側結合障害における運動開始・発話開始障害の回復代償経路の検討

○安栄 良悟

森山病院　脳神経外科

O3-19　発作間欠期てんかん性放電による脳機能階層構造の変容：皮質脳波機能的勾配解析

○上原 平[1,2]、岡留 敏樹[3]、向野 隆彦[4]、重藤 寛史[4]、迎 伸孝[5]、酒田 あゆみ[6]、萩原 綱一[2]

[1]国際医療福祉大学　脳神経内科、[2]福岡山王病院　てんかん・すいみんセンター、[3]宮崎県立宮崎病院　脳神経内科、[4]九州大学　脳神経内科、[5]九州大学　脳神経外科、[6]九州大学病院　検査部

O3-20　言語ネットワーク情報流のダイナミックトラクトグラフィー

○園田 真樹[1]、藤井 啓太[1]、會見 比佐夫[1]、黒田 直生人[2]、高山 裕太郎[1]、池谷 直樹[1]、山本 哲哉[1]、浅野 英司[2]

[1]横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学、[2]ウェイン州立大学医学部、デトロイトメディカルセンター ミシガン小児病院 神経内科学講座

O3-21　展望記憶に対するリアルタイム fMRI ニューロフィードバック介入の有効性と汎化可能性の検討

○武田 さより、高野 弘二、中村 仁洋

国立障害者リハビリテーションセンター研究所　脳機能系障害研究部　脳神経科学研究室

一般演題（口演）13　術中モニタリング

11 月 14 日（土）　9:40 ～ 10:36（第 7 会場）

座長：川端 茂徳（東京科学大学 先端技術医療応用学講座）

O3-22　脊椎手術時運動誘発電位モニタリングに潜む滑走電流の影響

○松岡 龍太[1]、竹島 靖浩[1]、高谷 恒範[2]、宮林 知誉[3]、森崎 雄大[1]、林 浩伸[2]、川口 昌彦[2]、中川 一郎[1]

[1]奈良県立医科大学　脳神経外科、[2]奈良県立医科大学　麻酔科、[3]奈良県立医科大学　臨床検査部

O3-23　聴神経腫瘍摘出時における聴性脳幹反応（ABR）と蝸牛神経背側核活動電位（DNAP）の併用

○山下 雅水[1]、吉實 純子[1]、菊山 薫[2]、佐野 史弥[2]、野村 俊介[2]、鮫島 哲朗[2]

[1]東京逓信病院　臨床検査科　生理機能検査室、[2]東京逓信病院　脳神経外科

O3-24　プロポフォール麻酔下 SEP における anesthetic fade の検討

○鷺谷 万葉[1]、佐々木 達也[2]、加藤 佑梨[1]、林崎 一樹[1]、高橋 良太[1]、跡邊 珠里[1]、工藤 朋宏[1]、小笠原 直希[1]、清水 裕也[1]、中鉢 亮[1]、鈴木 雅和[1]、斉藤 遼[2]、宮田 知昌[2]、高橋 義晴[2]、三月田 祐平[2]、伊藤 明[2]、遠藤 俊毅[2]

[1]東北医科薬科大学病院 臨床工学部、[2]東北医科薬科大学 脳神経外科

O3-25　三叉神経第一枝刺激オトガイ筋記録電位（blink synkinesis）の意義
－異常筋反応（AMR）と同時に消失した片側顔面痙攣の 8 例 -

○林崎 一樹[1]、鷺谷 万葉[1]、小笠原 直希[1]、清水 裕也[1]、中鉢 亮[1]、鈴木 雅和[1]、高橋 義晴[2]、三月田 祐平[2]、伊藤 明[2]、佐々木 達也[2]、遠藤 俊毅[2]

[1]東北医科薬科大学病院　臨床工学部、[2]東北医科薬科大学　脳神経外科

O3-26　NDB オープンデータを用いた術中神経モニタリング（K930）の算定実態：
2015-2023 年度の全国トレンドと地域格差
○安田 明正[1]、吉田 剛[2]、後迫 宏紀[3]、高橋 雅人[4]、川端 茂徳[5]、安藤 宗治[6]、今釜 史郎[7]
[1]国立病院機構　埼玉病院　整形外科、[2]浜松医療センター　整形外科、[3]浜松医科大学　整形外科学講座、[4]杏林大学　整形外科学教室、[5]東京科学大学　整形外科学講座、[6]和歌山労災病院　整形外科、[7]名古屋大学　整形外科学講座

O3-27　SPECT を用いた脳循環予備脳評価による頚動脈内膜剥離術中の体性感覚誘発電位振幅低下のリスク因子の解析
○山内 崇弘[1]、稲次 基希[1]、橋本 聡華[1]、阿部 大数[1]、斉藤 修[2]、稲垣 徹[2]、入江 伸介[3]、齊藤 孝次[2]
[1]東京科学大学病院　脳神経外科、[2]釧路孝仁会記念病院　脳神経外科、[3]札幌孝仁会記念病院　脳神経外科

O3-28　脳腫瘍手術における術中皮質刺激 MEP の増幅方法に関する検討
○松田 良介[1]、井澤 和美[2]、高谷 恒範[3]、林 浩伸[4]、上野 勝也[1]、埜中 正博[1]
[1]関西医科大学　脳神経外科、[2]関西医科大学　整形外科、[3]奈良県立医科大学附属病院　中央手術部、[4]奈良県立医科大学　麻酔科学教室

一般演題（口演）14　末梢神経・神経筋接合部・筋疾患

11 月 14 日（土）　10:50 ～ 11:46（第 6 会場）

座長：髙橋 正紀（大阪大学 生体病態情報科学講座　臨床神経生理学）

O3-29　末梢神経伝導検査とスドスキャンによる糖尿病性足皮膚潰瘍発生リスクの評価
○馬場 正之[1]、羽賀 理恵[2]、上野 達哉[2]、松井 淳[3]、川嶋 詳子[3]、鈴木 千恵子[4]
[1]ときわ会病院　脳神経内科、[2]青森県立中央病院　脳神経内科、[3]青森県立中央病院　脳糖尿病センター、[4]弘前大学　脳神経内科

O3-30　COVID-19 パンデミック前後でのギラン・バレー症候群スペクトラムの病型変化
○太田 和馬、幸原 伸夫、石井 淳子、吉村 元、川本 未知
神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

O3-31　神経磁界計測を用いた手根管症候群患者の神経機能評価：
正中神経肘部刺激法と指神経刺激法との比較
○山本 貴瑛[1]、佐々木 亨[2]、川端 茂徳[3]、大谷 泰[3]、田村 聡至[1]、吉井 俊貴[1]
[1]東京科学大学　整形外科学分野、[2]東京科学大学　運動器機能形態学講座、[3]東京科学大学　先端技術医療応用学講座

O3-32　電気生理学的検査項目に基づく糖尿病性多発神経障害新簡易診断基準の検証
○柴田 由加、姫野 龍仁、茂木 幹雄、速水 智英、下田 博美、加藤 誠、三浦 絵美梨、森下 啓明、近藤 正樹、神谷 英紀
愛知医科大学　医学部　内科学講座　糖尿病内科

O3-33　僧帽筋 CMAP 遠位潜時の脱髄性ニューロパチー同定への適用
○大崎 裕亮[1,2]、谷 美紀[2]、花田 健太[2]、高原 実香[2,3]、山崎 博輝[2]、和泉 唯信[2]
[1]徳島県立中央病院　脳神経内科、[2]徳島大学病院　脳神経内科、[3]国立病院機構とくしま医療センター西病院　脳神経内科

O3-34　神経磁界計測による梨状筋症候群の診断の有用性の検討

○小野 直登[1]、朴 正旭[1]、川島 康輝[1]、井澤 和美[1]、谷 陽一[1]、石原 昌幸[1]、幸原 伸夫[1]、齋藤 貴徳[2]、森田 充浩[1]

[1]関西医科大学附属病院　整形外科、[2]関西医科大学附属病院　脊椎神経センター

O3-35　筋炎症例における新しい半定量評価スケールの信頼性と臨床指標との相関の検討：日本のコホートにおける validation study

○吉田 剛[1]、山崎 博輝[2]、高松 直子[2]、和泉 唯信[2]

[1]近森病院　脳神経内科、[2]徳島大学　脳神経内科

一般演題（口演）15　術中モニタリング DBS

11 月 14 日（土）　10:50 ～ 11:46（第 7 会場）

座長：細見 晃一（大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）

O3-36　顔面痙攣に対する脳神経減圧術における術中モニタリングの意義と限界

○平石 哲也、三橋 大樹、小倉 良介、大石 誠

新潟大学脳研究所　脳神経外科

O3-37　全身麻酔下皮質皮質誘発電位を用いた言語モニタリングの汎用性と課題

○本山 靖[1]、濱田 直弥[2]、真住居 美和[2]、宮本 光江[3]、福森 惇司[1]、大西 佐久郁[1]、藤田 大義[1]、下間 惇子[1]、福留 賢二[1]、鄭 倫成[1]、明田 秀太[1]

[1]大阪けいさつ病院　脳神経外科、[2]大阪けいさつ病院　臨床工学科、[3]大阪けいさつ病院　リハビリテーション科

O3-38　運動誘発電位を用いた異常検知モデルによる術中脊髄機能モニタリング支援

○伊達 俊坪[1]、藤原 幸一[1,2,3]、世木 直喜[4]、中島 宏彰[4]、伊藤 定之[4]、大内田 隼[4]、山内 一平[4]、小枝 正汰[2]、今釜 史郎[4]

[1]名古屋大学大学院　工学研究科、[2]北海道大学　電子科学研究所、[3]奈良先端科学技術大学院大学　メディルクス研究センター、[4]名古屋大学大学院　医学系研究科　整形外科学

O3-39　大規模多施設前向き研究に基づく、急性 C5 麻痺検出のための新たな Tc-MEP アラーム基準の策定

○橋本 淳[1,2,3]、川端 茂徳[2,3]、後迫 宏紀[3]、吉田 剛[3]、藤原 靖[3]、荒川 保雄[3]、高橋 雅人[3]、世木 直喜[3]、重松 英樹[3]、山本 直也[3]、岩崎 博[3]、和田 簡一郎[3]、谷口 愼一郎[3]、安藤 宗治[3]、舩場 真裕[3]、山田 圭[3]、森戸 伸治[3]、田所 伸朗[3]、吉井 俊貴[2]、松山 幸弘[3]、今釜 史郎[3]

[1]九段坂病院　整形外科、[2]東京科学大学　整形外科、[3]日本脊椎脊髄病学会　術中脊髄モニタリング委員会

O3-40　FOOOF モデルは STN-LFP における β peak を顕在化する
— adaptive DBS プログラミングへの新たな示唆 —

○鈴木 拓馬[1,3]、高山 裕太郎[1,3]、木村 活生[2,4]、東島 威史[1,3]、安部 克哉[2,4]、川崎 隆[1,3]、田中 章景[4]、坂田 勝巳[1,3]、山本 哲哉[3]

[1]横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経外科、[2]横浜市立大学附属市民総合医療センター脳神経内科、[3]横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学、[4]横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学

O3-41　1.5T QSM による視床下核直接同定と術中微小電極記録との空間的一致度：
ロボット支援フレームベース DBS におけるパイロット検討
○伊藤 陽祐[1]、福多 真史[1]、太田 智慶[1,2]、増田 浩[1]、大石 誠[2]
[1] 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科、[2] 新潟大学脳研究所脳神経外科

O3-42　破裂脳動脈瘤クリッピング術における術中 MEP モニタリングの有用性と安全性に関する検討
○横山 昇平[1]、森崎 雄大[1]、中瀬 健太[1]、松岡 龍太[1]、木次 将史[1]、竹島 靖浩[1]、山田 修一[1]、西村 文彦[1]、高谷 恒範[2,3]、林 浩伸[2]、川口 昌彦[2]、中川 一郎[1]
[1] 奈良県立医科大学脳神経外科、[2] 奈良県立医科大学　麻酔科、[3] 奈良県立医科大学付属病院　中央手術部

一般演題（口演）16　TMS

11 月 14 日（土）　13:40 ～ 14:20（第 6 会場）

座長：緒方 勝也（国際医療福祉大学 福岡薬学部）

O3-43　中枢性器質性筋力低下と機能性筋力低下の鑑別における中枢運動伝導時間の有用性
○猪狩 龍佑、石川 舞、佐藤 誠勝、佐藤 大祐、近藤 敏行、佐藤 裕康、太田 康之
山形大学　医学部　内科学第三講座　神経学分野

O3-44　精神疾患治療を目指した電場が最も深達する経頭蓋磁気刺激コイルの開発と電場深達性能の検証
○飯野 杏菜[1]、福地 柊斗[2]、金 慧旻[1]、森 信彦[1,3]、細見 晃一[3]、関野 正樹[1,2]
[1] 東京大学大学院　工学系研究科　バイオエンジニアリング専攻、[2] 東京大学大学院　工学系研究科　電気系工学専攻、[3] 大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学

O3-45　圧センサーアレイを用いた経頭蓋磁気刺激 8 の字コイルの位置評価システムの開発と動作検証
○緒方 勝也[1]、中薗 寿人[2]、東 偉琉[1]、松野 豊[4]、池田 拓郎[3]、後藤 純信[5]
[1] 国際医療福祉大学　福岡薬学部、[2] 福岡国際医療福祉大学　作業療法学科、[3] 福岡国際医療福祉大学　理学療法学科、[4] 国際医療福祉大学　作業療法学科、[5] 国際医療福祉大学　医学部

O3-46　反復 4 連発磁気刺激法（QPS）が下肢一次運動野に及ぼす影響とその個人間変動
○徳田 直希[1]、守安 正太郎[1]、中村 知哉[1]、種田 建太[1]、村上 丈伸[1]、清水 崇宏[2]、宇川 義一[3,4]、花島 律子[1]
[1] 鳥取大学　医学部　医学科　脳神経医科学講座　脳神経内科学分野、[2] 東京都立神経病院　脳神経内科、[3] 福島県立医科大学　医学部　ヒト神経生理学講座、[4]NHO 福島病院　脳神経内科

O3-47　日本人 ALS 患者における抑制 - 促通不均衡と threshold tracking TMS の診断感度
○東原 真奈[1,2]、小森 雄太[2]、吉井 元[2]、舟川 開[2]、山田 一貴[2]、畑中 裕己[3]、園生 雅弘[4]、岩田 淳[2]
[1] 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野、[2] 東京都健康長寿医療センター脳神経内科、[3] 帝京大学医学部脳神経内科、[4] 帝京大学医療技術学部視能矯正学科

一般演題（口演）17　睡眠

11 月 14 日（土）　13:40 ～ 14:36（第 7 会場）

座長：小栗 卓也（公立陶生病院 脳神経内科）

O3-48　レム睡眠行動異常症（RBD）と誤診されてきた呼吸関連運動現象の新たな切り口

○立花 直子[1,2]、奥谷 一真[2,3]、三原 丈直[1,2]、濱野 利明[4,5]

[1] 関西電力病院　睡眠関連疾患センター、[2] 関西電力医学研究所　睡眠医学センター、[3] 関西電力病院　検査部、[4] 関西電力病院　脳神経内科、[5] 関西電力医学研究所　統合生理学研究センター

O3-49　睡眠中の異常行動や不眠の原因特定に終夜睡眠ポリグラフが有用であった自己免疫性脳炎の一例

○三輪 遥香[1]、川口 典彦[2]、小栗 卓也[3]、若松 翼[1]、鈴木 菜摘[1]、佐倉 裕二[1]、松井 一樹[1]、池田 淳司[2]、松平 敬史[2]、臼井 直敬[2]

[1]NHO 静岡てんかん・神経医療センター　検査科、[2]NHO 静岡てんかん・神経医療センター　てんかん科、[3] 公立陶生病院　脳神経内科

O3-50　自宅動画と PSG 所見が診断に有用であったノンレムパラソムニアの 1 例

○和田 晋一[1,2]、三原 丈直[1,2]、杉田 尚子[1,2]、奥谷 一真[2,3]、濱野 利明[1]、立花 直子[1,2]

[1] 関西電力病院 脳神経内科・睡眠関連疾患センター、[2] 関西電力医学研究所　睡眠医学研究部、[3] 関西電力病院　臨床検査部

O3-51　概日・ホメオスタティック因子を考慮した MSLT 評価
―過眠症各群の特性評価と診断的重み付けの提案

○咲間 妙子[1,2,3]、武井 洋一郎[3,4]、金井 芳野[3]、井上 雄一[2,3,4]

[1] 帝京大学医療技術学部臨床検査学科、[2] 東京医科大学睡眠学講座、[3] 神経研究所附属睡眠学研究所、[4] 睡眠総合ケアクリニック代々木

O3-52　携帯型終夜睡眠ポリグラフ検査でみた老年期うつ病の睡眠の特徴

○河合 真

スタンフォード大学　医学部　精神科　睡眠医学部門

O3-53　Nap Titration における睡眠内容が CPAP アドヒアランスに及ぼす影響の検討

○奥谷 一真[1,4]、福田 椋大[1]、丸本 圭一[1]、和田 晋一[2,3,4]、三原 丈直[2,4]、濱野 利明[3,5]、立花 直子[2,4]

[1] 関西電力病院　臨床検査部、[2] 関西電力病院　睡眠関連疾患センター、[3] 関西電力病院　脳神経内科、[4] 関西電力医学研究所　睡眠医学センター、[5] 関西電力医学研究所　統合生理学研究センター

O3-54　夜間睡眠中の聴覚誘発 K 複合波と固有神経時間スケールの関連

○北岡 波琉[1]、島根 大輔[2]、中原 潔[2,3]、竹田 昂典[2]

[1] 高知工科大学大学院 基盤工学専攻、[2] 高知工科大学 総合研究所 脳コミュニケーション研究センター、[3] 高知工科大学 情報学群

一般演題（口演）18　NIBS

11 月 14 日（土）　14:30 ～ 15:10（第 6 会場）

座長：花川 隆（国立大学法人 京都大学 高次脳科学講座 脳統合イメージング分野）

O3-55　線条体を標的とした時間干渉刺激が脳内神経伝達物質ならびに安静時脳機能結合に及ぼす影響

○木村 祥太[1]、松田 浩幸[2,3]、岩根 史明[4,5]、松村 佳奈[6]、藤木 稔[3]、菅田 陽怜[1,6]

[1]大分大学　福祉健康科学部　理学療法コース、[2]大分大学　医学部附属病院　医療情報部、[3]大分大学　医学部　脳神経外科、[4]National Institutes of Health、[5]National Institute of Neurological Disorders and Stroke、[6]大分大学大学院　福祉健康科学研究科

O3-56　神経障害性疼痛患者の一次運動野、島皮質を標的とした経頭蓋集束超音波刺激が皮質興奮性に与える影響

○星隈 悠平、森 信彦、細見 晃一、清水 豪士、Khoo Hui Ming、谷 直樹、貴島 晴彦

大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学

O3-57　リズム処理における経頭蓋超音波刺激の影響

○川上 紗輝[1]、森浦 芳枝[2]、渡辺 大貴[1,3]、岡田 研一[4]、田中 真樹[4]、小金丸 聡子[1,2]

[1]京都大学大学院医学研究科附属　脳機能総合研究センター、[2]大阪医科薬科大学　医学部　総合医学講座　リハビリテーション医学教室、[3]京都大学大学院　医学研究科人間健康科学系専攻、[4]北海道大学大学院医学研究院　神経生理学教室

O3-58　神経障害性疼痛に対する低出力経頭蓋集束超音波刺激の反復介入効果の検討

○森 信彦、星隈 悠平、細見 晃一、清水 豪士、Khoo Hui Ming、谷 直樹、貴島 晴彦

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

O3-59　静磁場曝露がＡδおよびＣ群痛覚神経線維刺激時の痛覚閾値に与える影響

○渡部 征名[1]、伊藤 環[2]、瀬尾 彩葉[1]、木戸 裕之[3]、太田 有紀[3]、楢崎 壮志[3]、堤 保夫[3]、美馬 達哉[4]、桐本 光[1]

[1]広島大学大学院　医系科学研究科　感覚運動神経科学、[2]あま市民病院、[3]広島大学大学院　医系科学研究科　麻酔蘇生学、[4]立命館大学大学院　先端総合学術研究科

English Oral Session　EN

10:50 ～ 11:38, November 14 (Sat.) (Room 5)

Chair：Yu Kitazawa (Yokohama City University Hospital, Clinical Laboratory (Neurology))

EO-01　CMAP is not solely a MUP-added waveform

-A physical re-examination of bipolar potential induction-

○ DAITOKU MISHIMA

独立行政法人国立病院機構　相模原病院　脳神経外科

EO-02 Stable biomarker of migraine by wide-band EEG on the pathophysiology and therapeutic strategies

○ MEGUMI NONAKA[1,2,3]、KIYOHIDE USAMI[4]、YUU TATSUOKA[5]、KYOKO HOSOKAWA[4]、MAYA TOJIMA[2]、KATSUYA KOBAYASHI[2]、MASAO MATSUHASHI[3,6]、DAISUKE DANNO[7]、TAKAO TAKESHIMA[7]、YOSHIHISA TATSUOKA[5]、HIROFUMI MARUYAMA[1]、RIKI MATSUMOTO[2]、AKI OIKEDA[2,3]

[1]Department of Clinical Neuroscience and Therapeutics, Hiroshima University, Graduate School of Biomedical and Health Sciences、[2]Department of Neurology, Kyoto University, Graduate School of Medicine、[3]Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University, Graduate School of Medicine、[4]Department of Clinical Laboratory, Kyoto University Hospital、[5]Tatsuoka Neurology Clinic、[6]Department of Medical Device Engineering, Kobe University, Graduate School of Medicine、[7]Department of Neurology, Tominaga Hospital

EO-03 Comparison of Cortical Silent Periods Between Upper- and Lower-Limb Muscles in Healthy Adults

○ RYOTA KUROIWA[1]、KAZUMOTO SHIBUYA[2]、TAKERU NARA[1,2]、ATSUSHI MURATA[1]、SATOSHI KUWABARA[2,3]

[1]Department of Rehabilitation Medicine, Chiba University Hospita、[2]Department of Neurology, Graduate School of Medicine Chiba University、[3]Research Institute of Disaster Medicine, Chiba University

EO-04 Machine Learning Prediction of Postoperative Delirium Using Preoperative EEG and HRV in Oral Surgery Patients

○ HONGYU LIU[1]、Yu Sai[1]、Hitomi Sato[1]、Satsuki Moriya[1]、Aika Yamada[1]、Yu Sasaki[1]、Yuka Fujimoto[1]、Takashi Takeuchi[1]、Hitoshi Muto[1]、Yuji Kabasawa[1]、Hirofumi Tomioka[1]、Hiroyuki Harada[1]、Manabu Kano[2]、Miho Miyajima[1]、Hidehiko Takahashi[1]

[1]Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Institute of Science Tokyo、[2]Kyoto University

EO-05 Impaired Adaptation and Reduced Practice Effect on Prism Adaptation in Multiple System Atrophy

○ KENTA TANEDA[1]、NAOKI TOKUDA[1]、SHOTARO MORIYASU[1]、TOMOYA NAKAMURA[1]、YASUTAKA MASUDA[1]、TAKENOBU MURAKAMI[1]、TAKAHIRO SHIMUZU[2]、YOSHIKAZU UGAWA[3,4]、RITSUKO HANAJIMA[1]

[1]Division of Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University、[2]Department of Neurology, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital、[3]Department of System Neuroscience, Fukushima Medical University、[4]Department of Neurology, NHO Fukushima National Hospital

EO-06 Low-Amplitude Vibration Near 100 Hz Enhances Somatosensory Sensitivity:
A Preliminary Neurophysiological Study

○ YUKO OHNO[1,4]、SHIN'ICH YOSHIMURA[1]、RIKA MORITA[4]、JISAIHAN A[1]、MIYABI TAKAHASHI[4]、AYAKA NAKAYAMA[4]、HINANO YAMAGUCHI[4]、HARUHI MAEHARA[4]、HIROMI FUKUHARA[4]、ZU SOH[2]、KAORI TAMURA[3]、MITSUO TONOIKE[1]

[1]Graduate School of Medicine/Science Engineering, The University of Osaka、[2]Hiroshima University、[3]Kyushu Institute of Technology、[4]Mukogawa Women's University

一般演題（ポスター） 脳波一般（1）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:28（ポスター会場）

座長：萩原 綱一（福岡山王病院 脳神経内科 / てんかん・すいみんセンター）

P1-01　閃輝暗点を呈し，脳波で 3 Hz の slow α variant を認めた 1 例

○大野 遥香[1]、橋本 黎[2]、木村 正夢嶺[2]、芦崎 太一朗[2]、尾谷 真弓[2]、的場 健人[2]、幡中 典子[3]、千原 典夫[2]

[1] 神戸大学医学部附属病院　検査部、[2] 神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科学、[3] 姫路中央病院　神経内科

P1-02　在宅長時間脳波記録の臨床実装に向けたヘルメット型脳波計の段階的改良

○浮城 一司[1]、佐藤 美輝[2]、石田 誠[1]、飯島 圭哉[2]、林 貴啓[2]、石川 英治[3]、渋谷 綱士[3]、中村 健太郎[3]、平塚 匡[3]、八木澤 隆[3]、山中 健介[3]、北添 雄眞[3]、岩崎 真樹[2]、神 一敬[1]

[1] 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野、[2] 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科、[3] 住友ベークライト株式会社

P1-03　経皮的酸素飽和度モニターが有用であった心因性非てんかん発作の一例

○小林 華衣[1]、板橋 悠太郎[2]、大畠 浩介[1]、牛木 和美[1]、市野 智子[1]、岡田 顕也[1]、中嶋 清美[1]、常川 勝彦[1]

[1] 群馬大学　医学部附属病院　検査部、[2] 群馬大学医学部附属病院　脳神経外科

P1-04　経時的な脳波記録が臨床に寄与した急性リチウム中毒患者の一症例

○木村 祥[1]、北野 直美[1]、織田 典子[1]、岩田 英紘[1]、杉野 裕志[1]、安井 敬三[2]、寶子山 稔[3]

[1] 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　医療技術部臨床検査科　生体検査課、[2] 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　脳神経内科、[3] 名古屋大学　脳とこころの研究センター

P1-05　代謝性脳症に合併しうる非痙攣性てんかん重積状態の鑑別：
脳波記録時・判読時の臨床検査技師としての工夫と応用

○小山 由実[1,2]、音成 秀一郎[3]、牧 龍我[3]、大野 成美[3]、野崎 晶太[1,2]、入江 亜美[1,2]、荒瀬 隆司[1,2]、茂久田 翔[1]

[1] 広島大学病院　検査部、[2] 広島大学病院　診療支援部、[3] 広島大学病院　脳神経内科

P1-06　位相再構成された強直間代発作時脳波と筋電図は Infra slow activity に近い周波数で同期する

○東 英樹、明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

P1-07　失語症状のみを呈した NCSE の一例

○神部 茉由、横佐古 卓、久保田 有一

東京女子医科大学附属足立医療センター　脳神経外科

P1-08　歯状核赤核・淡蒼球ルイ体萎縮症の病状進行に伴い皮質盲発作が出現した患者の脳波記録

○加藤 幸子[1]、田中 千陽[1]、押田 好美[1]、河島 江美[1]、下河 ナオミ[1]、鈴木 淳子[1]、内田 一弘[1]、小野澤 裕也[2]

[1] 北里大学病院　臨床検査部、[2] 麻布大学　生命・環境科学部

一般演題（ポスター） てんかん（1）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:34（ポスター会場）

座長：宇佐美 清英（京都大学 医学部附属病院 検査部）

P1-09　脳波検査で低周波数帯域を含む閃光刺激により光突発応答を認めた MELAS の一例

○松村 啓汰[1]、高橋 広大[1]、長澤 和樹[1]、原 将人[2]、工藤 正裕[2]、大井 清貴[2]、津田 圭介[2]、高橋 健太[2]、板橋 亮[2]、前田 哲也[2]、藤原 亨[3]

[1] 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部、[2] 岩手医科大学 医学部 内科学講座 脳神経内科・老年科分野、[3] 岩手医科大学 医学部 臨床検査医学・感染症学講座

P1-10　発作中の不随意運動に関連する脳活動を脳磁図で観察した部分てんかんの 1 例

○木下 真由[1]、矢澤 省吾[1]、武田 紘昌[1,5]、村原 貴史[1]、中尾 紘一[1]、杉本 晶子[1]、鶴田 和仁[1]、濱砂 亮一[2]、八木 和広[3]、松橋 眞生[4]

[1] 潤和会記念病院、[2] 潤和会記念病院　脳神経外科、[3] 潤和会記念病院　臨床検査科、[4] 神戸大学医療機器学講座、[5] 宮崎大学　脳神経内科

P1-11　過呼吸賦活により非けいれん性てんかん重積状態を呈した 1 例

○大西 巧真[1]、陶山 友里[1]、辻 宏樹[1]、松永 真由美[1]、岸戸 紗希[1]、須浪 夏姫[1]、今田 有美子[1]、秋山 麻里[2]、秋山 倫之[2]

[1] 岡山大学病院　医療技術部、[2] 岡山大学病院　小児神経科

P1-12　乳児てんかん性スパズム症候群の頭皮上脳波に認めた ictal DC shift の検討

○山口 峻汰[1]、前田 圭介[2]、坪井 日茉里[3]、細田 奈未[3]、福本 純一[3]、藤田 志保[3]、市野 直浩[1,2]、刑部 恵介[1,2]、杉本 恵子[1,4]、古川 源[5]、石原 尚子[5]

[1] 藤田医科大学大学院　医療科学研究科、[2] 藤田医科大学　医療科学部　生体機能解析学分野、[3] 藤田医科大学病院　臨床検査部、[4] 藤田医科大学　医療科学部　教育企画分野、[5] 藤田医科大学医学部　小児科学

P1-13　発作との関連が明らかでなかった Brief Potentially Ictal Rhythmic Discharges 様波形の 2 例

○三浦 祐太郎[1]、加藤 量広[2]、小野寺 隼人[1]、大友 智[3]

[1] みやぎ県南中核病院　検査部、[2] みやぎ県南中核病院　脳神経内科、[3] みやぎ県南中核病院　脳神経外科

P1-14　難治光過敏性に対して少量のアセタゾラミドが有効であったてんかん患者 5 例

○友田 陽子[1,2]、武山 博文[3]、宇佐美 清英[4]、夏原 聡[3]、小林 勝哉[3]、邉見 名見子[2,5]、小島 康祐[1]、松本 理器[3]、池田 昭夫[2]

[1] 武田総合病院　脳神経内科、[2] 武田総合病院　脳神経内科てんかん診療医療センター、[3] 京都大学大学院医学研究科　臨床神経学、[4] 京都大学医学部附属病院　検査部、[5] 武田総合病院　リハビリテーション科

P1-15　トシリズマブ投与後の脳波変化に基づき鎮静薬を調整した Cryptogenic new-onset refractory status epilepticus（C-NORSE）の一例

○大橋 智仁、七浦 仁紀、桐山 敬生、杉江 和馬

奈良県立医科大学　脳神経内科

P1-16　Faciobrachial dystonic seizures 後に側頭部律動性徐波を反復して認めた抗 LGI1 抗体関連脳炎

○柳澤 輝一、佐藤 慶史郎、荒武 和真、川北 カイキ、青木 聡、石井 辰仁、明神 寛暢、齋藤 拓也、近土 善行、内山 剛

聖隷浜松病院　脳神経内科

P1-17　MEG・SEEG 連動評価による術前診断を経て焦点切除を行った孔脳症随伴てんかんの 1 例

○植田 佑樹[1]、江夏 怜[2]、菅野 彩[2]、越智 典樹[3]、平松 泰好[1]、関口 郁奈子[1]、山田 聡[1]、後藤 健[1]、中久保 佐千子[1]、中島 翠[1]、江川 潔[1]

[1] 北海道大学病院　小児科、[2] 札幌医科大学附属病院　脳神経外科、[3] 北海道大学病院　検査・輸血部

一般演題（ポスター） てんかん（2）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:34（ポスター会場）

座長：榎本 雪（帝京平成大学　健康医療スポーツ学部）

P1-18　当院における海馬硬化症 23 症例の術前・術後の脳波比較

○油川 陽子[1,4]、溝渕 雅広[1,2,4]、石田 裕樹[3,4]、原 敬二[3,4]、中原 岩平[1,4]、五十嵐 奨[1]、阿部 剛典[1]、仁平 敦子[1]、佐光 一也[1]、中村 博彦[3]

[1] 中村記念病院 脳神経内科 、[2] 南一条脳内科、[3] 中村記念病院　脳神経外科、[4] 中村記念病院　てんかんセンター

P1-19　ANT-DBS における電極抵抗値の意味～抵抗値変化と発作・脳波の関係～

○井本 浩哉、野村 貞宏、藤井 奈津美、石原 秀行

山口大学　脳神経外科

P1-20　脳梁離断術後てんかん性スパズムにおける発作症候・脳波非対称性の定量解析

○内田 大貴[1,2]、小野 智憲[1,3]、本田 涼子[3,4]、馬場 史郎[2]、戸田 啓介[5]、松尾 孝之[2]、馬場 啓至[6]

[1] 国立病院機構長崎医療センター　脳神経外科、[2] 長崎大学　脳神経外科、[3] 国立病院機構長崎医療センター　てんかんセンター、[4] 国立病院機構長崎医療センター　小児科、[5] 国立病院機構長崎川棚医療センター　脳神経外科、[6] 西諫早病院　てんかんセンター

P1-21　レノックスガストー症候群の管理　―脳波判読、診断について―

○宮城島 孝昭[1]、井田 久仁子[2]、板橋 悠太郎[3]、平戸 政史[1]、合田 司[1]、高橋 章夫[1]

[1] 渋川医療センター　脳神経外科、[2] 渋川医療センター　てんかんセンター　小児科、[3] 群馬大学医学部附属病院脳神経外科

P1-22　頭蓋内脳波記録の信頼性向上を目指した Cirq-SEEG のレジストレーション精度検証

○毛呂 貴宏[1,2]、園田 真樹[2]、高山 裕太郎[2,3]、池谷 直樹[2]、藤井 啓太[2]、末永 潤[2]、小野寺 英孝[2]、立石 健祐[2]、山本 哲哉[2]

[1] 国立病院機構横浜医療センター脳神経外科、[2] 横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学、[3] 横浜市立大学附属市民総合医療センター脳神経外科

P1-23　迷走神経刺激装置植込み術における術前 MRI を用いた迷走神経位置同定および半自動三次元追跡ソフトウェア開発

○三橋 匠[1]、西岡 和輝[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、上田 哲也[1,2]、野村 和希[1,2]、高木 悠輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、中島 円[1,2]、菅野 秀宣[1,2]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学医学部脳神経外科、[2] 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

P1-24　当院における焦点てんかん外科治療での HFO の有用性と限界

○佐々木 宏典[1,2]、濱岡 敏基[1,2]、水上 萌子[1,2]、松田 綾子[1,2]、橋本 理緒[1,2]、藤附 駿輔[2,3]、長綱 敏和[2,3]、福迫 俊弘[2,4]、藤井 正美[2,3]

[1] 山口県立総合医療センター　中央検査部、[2] 山口県立総合医療センター　てんかんセンター、[3] 山口県立総合医療センター　脳神経外科、[4] 山口県立総合医療センター　脳神経内科

P1-25　顔面症状を呈する Epilepsia partialis continua に対し SEEG 評価に基づく前頭葉離断術を施行した 1 例

○鈴木 皓晴[1,2]、野村 和希[1,2]、三橋 匠[1,2]、上田 哲也[1,2]、西岡 和輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、菅野 秀宣[1,2,3]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学　脳神経外科、[2] 順天堂大学医学部附属順天堂医院　てんかんセンター、[3] スガノ脳神経外科クリニック

P1-26　てんかん外科手術における高次脳機能予後の検討

○近藤 綾乃[1,2]、甲斐 恵太郎[1]、公文 将備[1]、中江 俊介[1]、川瀬 希依留[1,2]、廣瀬 雄一[1]

[1] 藤田医科大学病院　脳神経外科、[2] 藤田医科大学　医学部　医学科

一般演題（ポスター）　発達障害

11 月 12 日（木）　14:40 ～ 15:10（ポスター会場）

座長：岡西 徹（鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経小児科学分野）

P1-27　不注意症状の鑑別における前頭部 slow spindle の有用性
－日中の眠気（EDS）と不注意優勢 ADHD 児の脳波周波数解析による検討－

○田丸 径[1,2]、渡邉 祐莉子[1]、相原 悠[1]、石井 佐綾香[2]、青柳 閣郎[3]、加賀 佳美[1]

[1] 山梨大学　医学部　小児科、[2] 国立病院機構甲府病院　小児科、[3] 山梨県立あけぼの医療福祉センター　小児科

P1-28　事象関連電位による統語理解発達評価の児童事例検討

○池田 一成[1]、藤村 拓未[1]、村尾 愛美[1]、諏訪園 秀吾[2]、松井 智子[3]

[1] 東京学芸大学、[2] 独立行政法人国立病院機構南京都病院、[3] 中央大学

P1-29　前向き 20 ヶ月後：小児を対象とした変化関連電位による「変化への気づき」獲得の評価

○鈴木 雅也[1]、小崎 瑞貴[1]、水野 嶺[1]、小池 康之[2]、土井 菜摘子[2]、乾 幸二[3]

[1] 東海光学、[2] パイロットコーポレーション、[3] 愛知県医療療育総合センター　発達障害研究所

P1-30　知的障害者における手掌頤反射と実行機能困難

○池田 吉史[1]、橋本 隆男[2]

[1] 東京学芸大学　教育学部、[2] 相澤病院　脳神経内科

P1-31　書字困難を呈する限局性学習症児の視線解析による検討

○青柳 閣郎[1,2]、後藤 裕介[3]、石井 佐綾香[2]、田丸 径[2]、相原 悠[2]、渡邊 祐莉子[2]、加賀 佳美[2]

[1] 山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科、[2] 山梨大学医学部小児科、[3] 山梨県こころの発達総合支援センター

一般演題（ポスター）　磁気刺激・経頭蓋電気刺激

11 月 12 日（木）　14:40 ～ 15:34（ポスター会場）

座長：松本 英之（三井記念病院 脳神経内科）

P1-32　運動・感覚発電位が治療効果判定に有用であった中枢・末梢連合脱髄症（CCPD）の 1 例

○松本 英之[1]、太田 祐輔[1]、倉島 葵[1]、濱田 健介[1]、武藤 多津郎[2]、畑中 裕己[1,3]、内尾 直裕[1]

[1] 三井記念病院　脳神経内科、[2] 藤田医科大学病院　脳神経内科、[3] 帝京大学医学部附属病院　脳神経内科

P1-33　神経発達症に対する反復経頭蓋磁気刺激の有効性及び安全性に関する検討 -feasibility study

○土橋 里美[1]、平島 温也[2]、森 信彦[4]、岩谷 祥子[1,5]、松本 恵[1,3]、山田 貴志[1,2]、木村 亮[1,2]、髙橋 隼[2]、細見 晃一[4]、北畠 康司[5]、下野 九理子[1,5]

[1]大阪大学大学院連合小児発達学研究科、[2]大阪大学大学院医学系研究科　精神医学教室、[3]大阪大学大学院人間科学研究科、[4]大阪大学医学部脳神経外科、[5]大阪大学医学部小児科

P1-34　治療抵抗性うつ病患者に対する経頭蓋反復磁気刺激が認知機能に及ぼす影響

○大西 尚哉[1]、西田 圭一郎[1]、舟橋 敏之[1]、高木 雄貴[1]、今津 伸一[1]、西澤 由貴[1]、青木 悠[1]、杉本 峻也[1]、高山 真衣[1]、春名 帝亮[1]、山根 倫也[2]、川端 康雄[1]、金沢 徹文[1]

[1]大阪医科薬科大学　神経精神医学教室、[2]追手門学院大学　心理学部

P1-35　XR 環境における Embodiment 関連生理応答の頑健性

― 仮想身体位置の変化が皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響 ―

○寺澤 雄太[1,2]、棚町 兼也[1,2]、金子 文成[1,2]

[1]東京都立大学　人間健康科学研究科　理学療法科学域、[2]慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室

P1-36　神経視界計測での健常者坐骨神経の可視化および評価

○川島 康輝[1]、朴 正旭[1]、安藤 宗治[1]、中山 健太郎[2]、幸原 伸夫[1]、森田 充浩[1]、齋藤 貴徳[1]

[1]関西医科大学　整形外科学講座、[2]関西医科大学　脳神経内科

P1-37　脳内機能結合異常を示した難治性機能性振戦に対する r TMS 治療が有効であった 1 例

○太田 吉彦[1]、高橋 千晶[2]、旭 雄士[3,4]、松下 功[2]、田中 隼斗[1]、長崎 翔和[1]、吉野 直美[1]、飯沼 由嗣[5]

[1]金沢医科大学病院　中央臨床検査部、[2]金沢医科大学　リハビリテーション医学科、[3]金沢脳神経外科病院　脳神経外科、[4]聖マリアンナ医科大学　脳神経外科学、[5]金沢医科大学　臨床感染症学

P1-38　中枢および末梢からの同期的神経活動誘発に基づく感覚障害介入手法の検討

○瓜谷 和暉[1]、塙 大樹[2]、山岡 竜也[3]、市村 幸盛[3]、村田 祐樹[3]、櫻田 武[2]、小金丸 聡子[4]、美馬 達哉[5]

[1]成蹊大学　理工学研究科　理工学専攻、[2]成蹊大学　理工学部　理工学科、[3]村田病院、[4]大阪医科薬科大学　医学部総合医学講座　リハビリテーション医学教室、[5]立命館大学

P1-39　一次体性感覚野への経頭蓋直流電気刺激における個人別の電界強度と体性感覚誘発電位の変化の検討

○黒川 凌[1]、松田 裕弥[2]、赤岩 眞悠[3]、菅原 靖[1]、小菅 凜[2]、佐々木 健史[4]、鈴木 淳平[5]、古田 亮一[1]、菅原 和広[4]

[1]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科、[2]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[3]京都大学大学院　医学研究科人間健康科学系専攻、[4]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[5]札幌柏葉会病院　診療技術部　放射線科

P1-40　脳卒中患者における皮質内抑制が麻痺側巧緻動作に及ぼす影響

○南 航大[1,2]、平野 倫[2]、土田 和輝[2]、小柳 創[2]、佐藤 湧[2]、川上 途行[2,3]、近藤 国嗣[2]、高橋 碧希[1]、田中 優生[1]、清水目 和[1]、大熊 健太[1]、篠崎 佑介[1]、川又 涼[1]、渡邊 龍憲[1,4]

[1]青森県立保健大学大学院　健康科学研究科、[2]東京湾岸リハビリテーション病院、[3]慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室、[4]早稲田大学　スポーツ科学研究センター

一般演題（ポスター） 術中モニタリング（1）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:10（ポスター会場）

座長：齋藤 貴徳（関西医科大学 整形外科）

P1-41 心拍数、血圧の上昇で MEP、SEP の振幅低下を認めた一例
○山本 啓介、杉山 邦男
東邦大学医療センター大森病院

P1-42 当院における abnormal muscle response（AMR）の検出方法の工夫
○山田 大輔[1]、坪倉 雅人[2]、小笠原 将太[2]、郷田 真弓[2]、笠島 一洋[1]、定政 信猛[1]、滝 和郎[1]
[1] 康生会武田病院 脳神経外科、[2] 康生会武田病院 検査科

P1-43 MCA 脳動脈瘤クリッピング術における、ICG 投与から 3 分間の MEP の振幅変化
○池田 紘二
大西脳神経外科病院 医療技術部 臨床検査科・臨床工学科

P1-44 仰臥位神経血管減圧術における ABR・AMR 術中モニタリングの有用性
○松本 政輝[1]、新井 晋太郎[1]、清水 克悦[1]、稲葉 明日香[2]、関 美緒[2]、武内 芽衣[2]、渡辺 涼加[2]、奈良 英里香[2]
[1] 昭和医科大学 医学部 脳神経外科学講座、[2] 昭和医科大学病院 臨床検査室臨床検査部門 生理検査室

P1-45 脳神経減圧術中 ABR における刺激頻度依存性の I ー III 波間潜時選択的延長
○樋口 佳則[1]、栗原 聡[1]、前田 紘一郎[1]、岡原 陽二[2]、青柳 京子[2]
[1] 千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学、[2] 千葉県循環器病センター脳神経外科

一般演題（ポスター） 神経伝導検査・誘発筋電図

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:16（ポスター会場）

座長：佐藤 研吾（鳥取大学 医学部保健学科病態検査学講座）

P1-46 逆行性感覚神経伝導検査を用いて検討した環指背側の感覚支配
○高井 一志[1]、三村 知之[1]、谷 栄了[1]、長谷川 修[2]、松永 徹也[1]
[1] 三豊総合病院企業団 リハビリテーション部、[2] 横浜市立大学

P1-47 尺骨神経のインチング法でみた神経伝導と神経エコーでみた断面積との関連性
～健常者での検討から～
○原嶋 渉、山﨑 優貴子、児玉 三彦、水野 勝広
東海大学医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

P1-48 末梢神経伝導検査における 2 点記録・波形の Digital Subtraction の結果についての振り返り
○久保田 美里[1]、戸田 晋央[2]、瀬谷 尚義[1]、竹下 実歩[1]、田井 祐紀子[1]、紺谷 智[2]、東盛 雄政[2]
[1] 新松戸中央総合病院 生理検査室、[2] 新松戸中央総合病院 脳神経内科

P1-49 骨格筋量と神経伝導検査指標との相関についての探索的研究
○篠塚 一摩[1]、森島 亮[2]、村山 典子[1]、金子 幸子[1]、瀬川 葵[1]、小池 清美[1]、押本 貴之[1]、石澤 圭介[1]、川添 僚也[2]、木村 英紀[2]、木田 耕太[2]
[1] 東京都立神経病院 検査科、[2] 東京都立神経病院 脳神経内科

P1-50　随意収縮時の筋磁場の decomposition による短母指外転筋の単一運動単位活動の抽出

○大谷 泰[1]、赤座 実穂[2]、足立 善昭[3]、渡部 泰士[1]、関原 謙介[1]、川端 茂徳[1]

[1]東京科学大学　先端技術医療応用学講座、[2]東京科学大学　生命情報応用学分野、[3]金沢工業大学　先端電子技術応用研究所

P1-51　MEG を用いた健常者での長潜時反射誘発時の大脳皮質の関与の検討

○坂本 竜一[1,5]、矢澤 省吾[2]、武田 紘昌[2,4]、八木 和広[3]、鶴田 和仁[2]、荒川 英樹[5]

[1]潤和会記念病院　リハビリテーション科、[2]潤和会記念病院　脳神経内科、[3]潤和会記念病院　臨床検査室、[4]宮崎大学医学部附属病院　脳神経内科、[5]宮崎大学医学部附属病院　リハビリテーション科

一般演題（ポスター）　末梢神経疾患（1）

11 月 12 日（木）　14:40 ～ 15:16（ポスター会場）

座長：清水 崇宏（東京都立神経病院 脳神経内科）

P1-52　神経伝導検査が診断に有効であった肺尖部腫瘍の 1 例

○中島 聡一[1]、武田 里彩[2]、目黒 未来子[2]、星 径子[2]、江花 翔太[2]、納谷 紅葉[2]、塩瀬 拓人[4]、嶋崎 睦[3]、廣瀬 正樹[4]、本田 雅人[1]、山田 登[1]、鈴木 一瑛[1]、佐々木 陽一[1]、後藤 秀太[1]、村田 勇人[1]、奥田 拓[1]、常陸 真[5]

[1]竹田綜合病院　整形外科、[2]竹田綜合病院　臨床検査科　生理検査室、[3]竹田綜合病院　リハビリテーション科、[4]竹田綜合病院　脳神経内科、[5]竹田綜合病院　放射線科

P1-53　高齢者の腓骨神経麻痺に前脛骨筋導出が有用であった 2 例

○門永 陽子、橋本 裕希、竹下 由季、小山 卓也、石川 夏帆、杉村 香奈

松江市立病院

P1-54　インフルエンザワクチン接種後に神経痛性筋萎縮症と考えられる左橈骨神経麻痺を呈し，改善までの経過を追跡し得た 77 歳男性例

○三森 雅広[1]、松野 博優[1]、茂木 晴彦[1]、園生 雅弘[2,3]

[1]東京慈恵会医科大学　内科学講座　脳神経内科、[2]帝京大学　医療技術学部 視能矯正学科、[3]帝京大学　医学部　脳神経内科学

P1-55　肘部管症候群として手術を行いそうになった急性尺骨神経障害の一例

○石津 敦玄、長谷川 和重

仙塩利府病院　整形外科

P1-56　関節鏡視下腱板修復術後に上肢挙上困難をきたした神経痛性筋萎縮症の一例

○田村 暁子[1]、園生 雅弘[2]、藏谷 幸祐[3]、濱田 雄一[1]、早川 直希[1]、河田 怜子[1]、嶋田 敏行[1]、安川 直征[1]、梅村 ゆりあ[1]、黒田 健仁[1]、柴田 益成[1]

[1]一般財団法人　住友病院　脳神経内科、[2]帝京大学医学部　脳神経内科、[3]JCHO 大阪病院　整形外科

P1-57　正中神経反回枝麻痺に対して神経剥離術を行った 1 例

○堀 莉彩、伊藤 りえ、日塔 寛昇、渡邉 健一、石井 克志、佐藤 庸介、前田 皓、武川 竜朗

横浜医療センター　整形外科

一般演題（ポスター） 末梢神経疾患（2）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:28（ポスター会場）

座長：能登　祐一（京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学）

P1-58　環指試験における感覚電位の振幅と持続時間も CTS 診断に役立つ

○松下 隆史[1]、幸原 伸夫[2]

[1] 神戸市立西神戸医療センター　臨床検査技術部、[2] 神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

P1-59　肘部尺骨神経障害と遠位型頸椎症性筋萎縮症の神経伝導検査所見の類似性と差異

○高橋 えり沙[1]、宮地 洋輔[2]、浅野 史織[1]、武田 むつき[1]、森原 啓介[1]、北澤 悠[1]、東山 雄一[1]、木村 活生[3]、上田 直久[3]、土井 宏[1]、馬場 泰尚[2]、田中 章景[1]

[1] 横浜市立大学附属病院　神経内科学･脳卒中医学、[2] 帝京大学医学部附属溝口病院　脳神経内科、[3] 横浜市立大学附属市民総合医療センター　脳神経内科

P1-60　手根管症候群における APB CMAP 消失と第二虫様筋 CMAP の関連
― 糖尿病を含めた多変量解析による検討 ―

○西脇 啓太[1]、川上 明香[1]、杉岡 風來[1]、磯村 優[1]、伊藤 馨太郎[1]、井上 健二[1]、鈴木 優大[1]、夏目 雅弘[2]、伊藤 英史[1]、大嶋 剛史[1]

[1] 刈谷豊田総合病院　臨床検査・病理技術科、[2] 刈谷豊田総合病院　手外科・四肢外傷外科

P1-61　手根管症候群におけるしびれ症状の客観評価―PainVision および神経伝導検査を用いた検討―

○岡本 哲也[1]、山口 幸之助[2]、香川 美宝[1]、堀尾 美友紀[1]、藤澤 茉央[1]、岡 邦彦[2]、宮本 瞬[2]、山田 佳明[2]、稲毛 敏宏[1]、三好 そよ美[1]、野口 早苗[1]、多田 智紀[1]、石川 正和[2]、杉元 幹史[3,4]

[1] 香川大学医学部附属病院　医療技術部検査部門、[2] 香川大学　医学部　整形外科、[3] 香川大学医学部　泌尿器・副腎・腎移植外科、[4] 香川大学医学部附属病院　検査部

P1-62　特発性前骨間神経麻痺に対する神経伝導検査法の有用性

○信田 進吾

松田病院

P1-63　神経超音波による腕神経叢評価から手術に至った disputed neurogenic TOS の 2 例

○山崎 博輝[1]、高松 直子[1]、木村 友彦[2]、谷 美紀[1]、花田 健太[1]、福本 竜也[1]、大崎 裕亮[1,3]、東原 真奈[1]、西庄 俊彦[4]、松井 尚子[1]、和泉 唯信[1]

[1] 徳島大学病院　脳神経内科、[2] 東京大学大学院　医学系研究科　脳神経医学専攻神経内科学、[3] 徳島県立中央病院　脳神経内科、[4] 徳島大学大学院　医歯薬学研究部　運動機能外科学分野

P1-64　尺骨神経管症候群の電気生理学的診断と手術成績

○信田 進吾

松田病院　整形外科

P1-65　記録筋を追加した神経伝導検査により局在診断し得た絞扼性ニューロパチーの 2 例

○佐々木 宏仁[1,2]、上野 亜佐子[1,3]、前田 良太[1]、山口 萌[4]、原田 真紀子[4]、西山 康裕[1]

[1] 福井大学　医学部　脳神経内科学講座、[2] 杉田玄白記念公立小浜病院　神経内科、[3] 福井県済生会病院　脳神経内科、[4] 杉田玄白記念公立小浜病院　臨床検査科

一般演題（ポスター） AI・脳機能解析

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:42（ポスター会場）

座長：花川 隆（国立大学法人　京都大学 高次脳科学講座　脳統合イメージング分野）

P2-01　随意収縮下の磁気刺激 MEP 潜時の制約付き隠れマルコフモデルによる推定

○原 涼[1]、代田 悠一郎[1,2]、濱田 雅[1]

[1] 東京大学医学部附属病院　脳神経内科、[2] 東京大学医学部附属病院　検査部

P2-02　大脳基底核型 Brain Machine Interface 構想：
DBS 電極から記録する local field potential の可能性

○谷 直樹、末松 拓也、平井 健太郎、牛田 裕子、細見 晃一、Khoo Hui Ming、貴島 晴彦

大阪大学大学院医学系研究科　脳神経外科

P2-03　左一次運動野への経頭蓋静磁場刺激が刺激対側の脳血流動態に及ぼす影響

○星 春輝[1,2]、芝田 純也[1,2]、美馬 達哉[3]、大西 秀明[1,2]

[1] 新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　理学療法学科、[2] 新潟医療福祉大学　運動機能医科学研究所、[3] 立命館大学大学院　先端総合学術研究科

P2-04　Lesion-Symptom Mapping による脳卒中後のしびれと痛みの責任病変の検討

○細見 晃一[1,2]、森 信彦[1,2]、山本 暁大[1,3]、平井 健太郎[1]、星隈 悠平[1]、末松 拓也[1]、根岸 克行[1]、入里 直樹[1]、森口 玄渡[1]、牛田 裕子[1,2]、一瀬 綾花[1]、清水 豪士[1]、Khoo Hui Ming[1]、谷 直樹[1]、貴島 晴彦[1,2]

[1] 大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学、[2] 大阪大学医学部附属病院　疼痛医療センター、[3] 阪和記念病院　脳神経外科

P2-05　神経伝導検査における刺激アーチファクト低減に対する刺激電極回旋およびアース電極条件の影響：統合シミュレーションモデルによる検討

○宮崎 裕大[1,2]、海津 伶[3]、西川 順治[4]、高橋 修[5]、牛島 良介[6]、高橋 宣成[7]、富田 豊[8]、辻 哲也[2]

[1] 国立精神・神経医療研究センター　病院　身体リハビリテーション部、[2] 慶應義塾大学医学部　リハビリテーション医学教室、[3] 埼玉医科大学国際医療センター　リハビリテーション科、[4] 埼玉石心会病院　診療部　リハビリテーション科、[5] 東京都リハビリテーション病院　検査科、[6] ニューロビジネスアドバイザ、[7] 東京都立多摩北部医療センター　リハビリテーション科、[8] 慶應義塾大学

P2-06　注意機構を導入した時空間グラフ畳み込みネットワーク（STA-GCN）による皮質皮質間誘発電位（CCEP）を用いたてんかん発作起始領域（SOZ）の自動局在化

○片山 創己[1]、平川 翼[2]、山下 隆義[3]、橋本 黎[4]、竹中 友洋[5]、松本 明香[4,5]、小林 勝哉[5]、菊池 隆幸[6]、松本 理器[5]、藤吉 弘亘[1]

[1] 中部大学大学院　工学研究科　ロボット理工学専攻、[2] 中部大学　理工学部　AI ロボティクス学科、[3] 中部大学大学院　工学研究科　情報工学専攻、[4] 神戸大学大学院　医学系研究科　脳神経内科学分野、[5] 京都大学大学院　医学研究科　臨床神経学、[6] 京都大学大学院　医学研究科　脳神経外科学

P2-07　SPES 刺激パラメータによる応答特性の変化：周波数依存性の検討

○相澤 桃[1]、園田 真樹[1,2]、藤井 啓太[1,2]、會見 比佐夫[1,2]、池谷 直樹[1,2]、末永 潤[1,2]、小野寺 英孝[1,2]、立石 健祐[1,2]、山本 哲哉[1,2]

[1] 横浜市立大学　医学部　脳神経外科、[2] 横浜市立大学大学院　医学研究科　脳神経外科学

一般演題（ポスター） 脳波一般（2）

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:48（ポスター会場）

座長：松橋 眞生（神戸大学大学院医学系研究科 医療創成工学専攻 医療機器学講座）

P2-08 文字逐次提示における意味確定過程の脳波計測と電極ベース状態空間モデルによる方向性相互作用の探索

○田中 玲桐
株式会社湘南保育　幼児教育研究部

P2-09 国際 10-20 法電極配置による脳波記録の、ICLabel 適用妥当性の検討

○鹿野 晃矛[1]、齋藤 真生[1]、長岡 敦子[1]、日野 瑞城[2]、國井 泰人[1,2,3]、富田 博秋[1,2,3]
[1] 東北大学病院　精神科、[2] 東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害精神医学分野、[3] 東北大学大学院 医学系研究科 精神神経学分野

P2-10 変形性膝関節症患者における前頭部安静時脳波 peak alpha frequency の特徴

○森川 雄生[1,2]、佐々木 遼[3,4,5]、徳田 光紀[1,2]、寺田 奈穂[1]、原田 侑真[1]、西渕 大悟[1,2]、大住 倫弘[2,3,6]
[1] 平成記念病院　リハビリテーション課、[2] 畿央大学大学院　健康科学研究科、[3] 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター、[4] 日本学術振興会、[5]Department of Physical Therapy & Rehabilitation Science, University of Iowa、[6] 畿央大学健康イノベーション教育研究センター

P2-11 局所頭蓋内脳波活動による覚醒・睡眠状態の推定

○池谷 直樹[1,2]、小泉 陽菜乃[3]、今西 雄也[1,2]、服部 愛[1,2]、藤井 啓太[1,2]、園田 真樹[1,2]、ミケレット ルジェロ[3]、山本 哲哉[1,2]
[1] 横浜市立大学大学院　医学研究科・医学部　脳神経外科学、[2] 横浜市立大学附属病院　YCU てんかんセンター、[3] 横浜市立大学大学院　生命ナノシステム科学研究科　物質システム科学

P2-12 救命 ICU における簡易脳波モニタリングの実施状況と発作関連パターンの検出率

○麥倉 慎、神宮司 成弘、植西 憲達
藤田医科大学 救急医学・総合内科学講座

P2-13 カテゴリ弁別課題 / 聴覚性言語記憶における海馬活動の側方性検証

○小林 柚月[1]、藤井 啓太[2]、園田 真樹[2]、會見 比佐夫[2]、池谷 直樹[2]、末永 潤[2]、小野寺 英孝[2]、立石 健祐[2]、山本 哲哉[2]
[1] 横浜市立大学　医学部　医学科、[2] 横浜市立大学　大学院　医学研究科　脳神経外科学

P2-14 選択的 Wada test における投与血管と頭蓋内脳波変化との空間的関連性

○藤井 啓太[1]、園田 真樹[1]、中居 康展[1]、黒須 咲良[2]、會見 比佐夫[1]、鈴木 良介[1]、池谷 直樹[1]、末永 潤[1]、小野寺 英孝[1]、立石 健祐[1]、山本 哲哉[1]
[1] 横浜市立大学　大学院医学研究科　脳神経外科学、[2] 東京都リハビリテーション病院　リハビリテーションセンター　言語療法部門

P2-15 逐次文字提示課題における意味形成過程の時間的解読
— Group Cross-Validation と Haufe パターンを用いた EEG 解析 —

○田中 玲桐
株式会社湘南保育　幼児教育研究部

一般演題（ポスター） 事象関連電位

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:30（ポスター会場）

座長：吉村 匡史（関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科）

P2-16 Go 条件と Nogo 条件の頻度の違いにおける N2 の様相

○平野 大輔[1,2]、後藤 純信[1,3,4]、木村 修豪[5]、勝二 博亮[6]、谷口 敬道[1,2]

[1] 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科、[2] 国際医療福祉大学 保健医療学部 作業療法学科、[3] 国際医療福祉大学 医学部 医学科 生理学教室、[4] 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 作業療法学科、[5] 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 作業療法学科、[6] 茨城大学 教育学部 障害児生理研究室

P2-17 音圧 / 周波数変化による 40 Hz 聴性定常反応の脱同期

○渡邊 孝康[1]、元村 英史[2]、久富 一毅[1]、中山 裕介[1]、岡本 季苗[1]、新家 加奈子[1]、乾 幸二[3,4]、岡田 元宏[2]、杉本 和史[1]

[1] 三重大学医学部附属病院 検査部、[2] 三重大学大学院医学系研究科 精神神経科学分野、[3] 愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 神経情報研究部門、[4] 生理学研究所 生体機能情報解析室

P2-18 音源定位刺激を用いた階層的聴覚予測誤差モデルのパラダイム検討

○葛西 彩理[1]、藤田 雄輝[1]、山羽 亜美[1]、塚本 実奈子[1]、中山 享之[1]、藤田 貢平[2]、乾 幸二[3]、牛田 享宏[4]、西原 真理[4]

[1] 愛知医科大学病院 中央臨床検査部、[2] 愛知医科大学 医学部 精神学講座、[3] 愛知県異様療育総合センター 発達障害研究所 障害システム研究部門、[4] 愛知医科大学 医学部 疼痛医学講座

P2-19 双極性障害におけるペアパルス刺激を用いた聴性定常反応と sensory gating の検証

○河野 修大[1]、元村 英史[1]、久富 一毅[2]、中山 裕介[2]、渡邊 孝康[2]、新家 加奈子[2]、樋口 恵一[2]、中野 智介[1]、乾 幸二[3,4]、岡田 元宏[1]

[1] 三重大学大学院医学系研究科 精神神経科学分野、[2] 三重大学医学部附属病院 検査部、[3] 愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 神経情報研究部門、[4] 生理学研究所 生体機能情報解析室

P2-20 自己ペース運動における運動間隔の違いがβ帯域脳律動に及ぼす影響

○祐川 岳大[1]、小菅 凜[1]、酒井 啓吾[1]、松田 裕弥[1,2]、岩田 昴樹[1,3]、安部 千秋[1,3]、柴田 恵理子[4]、佐々木 健史[5]、菅原 和広[5]

[1] 札幌医科大学大学 保健医療学研究科、[2] 日本学術振興会 特別研究員、[3] 札幌柏葉会病院 リハビリテーション科、[4] 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、[5] 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 理学療法学第一講座

一般演題（ポスター） てんかん（3）

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:54（ポスター会場）

座長：山崎 まどか（国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科）

P2-21 24 時間対応の緊急脳波・長時間ビデオ脳波体制の臨床的有用性

○富澤 伸太郎[1]、曽我 天馬[2]、曽我 海馬[2]、荒谷 菜海[2]、原田 早苗[1]、大槻 泰介[2]、曾我 孝志[2]

[1] ベーテル病院 検査科、[2] ベーテル病院 てんかん内科

P2-22　優位半球海馬切除後早期言語性記憶低下に影響を与える因子の検討

○瀬山 剛、香川 幸太、岡村 朗健、ロファット アスコロ、堀江 信貴
広島大学病院脳神経外科

P2-23　脳波読影におけるモンタージュ使用行動とてんかん性異常判定の調査
— 複数モンタージュ同時描出による評価 —

○斉藤 聡志[1,2]、倉持 泉[1]、田中 久弥[3]、谷口 豪[1]
[1]国立精神・神経医療研究センター病院　てんかん診療部、[2]東京女子医科大学　脳神経内科、[3]工学院大学　情報学部情報デザイン学科　生体情報処理研究室

P2-24　高齢者てんかん診療における脳波検査時の睡眠導入剤使用の安全性と臨床的意義

○山本 清璃[1]、川口 典彦[2]、足立 奈穂[1]、若松 翼[1]、鈴木 菜摘[1]、佐倉 裕二[1]、松井 一樹[1]、臼井 直敬[2]
[1]NHO 静岡てんかん・神経医療センター 検査科、[2]NHO 静岡てんかん・神経医療センター てんかん科

P2-25　未治療の特発性全般てんかんの外来脳波診断における棘徐波検出確率を数学的モデルで推測した

○小野 智憲[1,2,3]、佐藤 和明[2,4]、森嶌 孝文[3]、熊谷 信利[3]、西口 奈菜子[2,5]、本田 涼子[2,5]
[1]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　機能形態発達研究部、[2]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　てんかんセンター、[3]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　脳神経外科、[4]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　脳神経内科、[5]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　小児科

P2-26　てんかん性スパズムにおける高周波パワーの領域間差：SEEG を用いた 2 症例の検討

○井上 岳司[1]、山本 直寛[1]、志手 弥生[1]、福岡 正隆[1]、温井 めぐみ[1]、九鬼 一郎[1]、石本 幸太郎[2]、馬場 良子[2]、國廣 誉世[2]、宇田 武弘[2,3]、岡崎 伸[1]
[1]大阪市立総合医療センター　小児脳神経・言語療法内科、[2]大阪市立総合医療センター　小児脳神経外科、[3]大阪公立大学　大学院医学研究科　脳神経外科

P2-27　当院のポータブル脳波検査で Rhythmic and Periodic Patterns（RPPs）が検出された後の治療強化に関する後方視的研究

○三枝 信大郎、岩見 朋美、永井 俊行、碓井 遼、飯塚 高浩、西山 和利
北里大学　医学部　脳神経内科学

P2-28　当院のポータブル脳波検査によるくも膜下出血患者の予後不良因子の検討

○岩見 朋美[1]、永井 俊行[1]、碓井 遼[1]、山本 大輔[2]、小泉 寛之[2]、隈部 俊宏[2]、飯塚 高浩[1]、西山 和利[1]
[1]北里大学　医学部　脳神経内科学、[2]北里大学　医学部　脳神経外科学

P2-29　非けいれん性てんかん重積を念頭においた Critical Care EEG で、背景活動の異常や局所徐波から想定外の頭蓋内病変の存在を指摘し得た 2 例

○川井 洋輔[1,2]、宇佐美 清英[3]、細川 恭子[3]、岡田 慶太郎[1]、立田 直久[1]、眞木 崇州[1]、村山 豪宏[4]、山路 翔太[5]、宮本 岳直[4]、石黒 義孝[4]、大鶴 繁[4]、松本 理器[1]
[1]京都大学医学部附属病院　脳神経内科、[2]新潟大学大学院医歯学総合研究科　救急集中治療医学分野、[3]京都大学医学部附属病院　検査部、[4]京都大学医学部附属病院　初期診療・救急科、[5]京都大学医学部附属病院　循環器内科

一般演題（ポスター） 運動調節

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:30（ポスター会場）

座長：文室 知之（大分大学 医学部　先進医療科学科　生命健康科学コース）

P2-30　外的リズムの有無と種類がリズミカルな運動時の神経同調およびβ帯域脳律動に及ぼす影響

○小菅 凜[1]、橋本 菫[2]、松田 裕弥[1,3]、岩田 昴樹[1,4]、祐川 岳大[1]、酒井 啓吾[1]、柴田 恵理子[5]、佐々木 健史[2]、菅原 和広[2]

[1]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[2]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[3]日本学術振興会　特別研究員、[4]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科、[5]北海道文教大学　医療保健科学部　リハビリテーション学科　理学療法学専攻

P2-31　自己ペース右母指運動の運動間隔がβ帯域事象関連脱同期および事象関連同期に及ぼす影響：脳磁図による検討

○菅原 和広[1,2,3,4,5,6,7]、小菅 凜[2]、松田 裕弥[2,3]、祐川 岳大[2]、酒井 啓吾[2]、齊藤 秀和[4]、佐々木 健史[1]、佐々木 祐典[5]、植田 佑樹[6]、松橋 眞生[7]

[1]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[2]札幌医科大学　保健医療学研究科、[3]日本学術振興会　特別研究員、[4]札幌医科大学　保健医療学部　作業療法学科　作業療法学第一講座、[5]札幌医科大学　医学部　生理学講座　神経科学分野、[6]北海道大学病院　小児科、[7]神戸大学大学院　医学系研究科　医療創生工学領域

P2-32　Go/NoGo 課題における手がかり刺激は反応準備期におけるα帯域の脳律動を変調させる

○松田 裕弥[1,2]、小菅 凜[1]、岩田 昴樹[1,3]、祐川 岳大[1]、酒井 啓吾[1]、佐々木 健史[4]、柴田 恵理子[5]、菅原 和広[4]

[1]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[2]日本学術振興会　特別研究員、[3]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科、[4]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[5]北海道文教大学　医療保健科学部　リハビリテーション学科　理学療法学専攻

P2-33　音楽テンポの違いが運動時のβ帯域事象関連同期に及ぼす影響

○橋本 菫[1]、小菅 凜[2]、松田 裕弥[2,3]、岩田 昴樹[2,4]、祐川 岳大[2]、酒井 啓吾[2]、佐々木 健史[1]、菅原 和広[1]

[1]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[2]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[3]日本学術振興会　特別研究員、[4]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科

P2-34　歩行時すくみ現象の筋シナジー分析 -1 症例での検討

○長岡 正範[1,2]、海老原 彰[1]

[1]友志会リハビリテーション翼の舎病院　リハビリテーション科、[2]順天堂大学医学研究会脳神経内科・リハビリテーション科

一般演題（ポスター） リハビリテーション

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:54（ポスター会場）

座長：児玉 三彦（東海大学医学部 専門診療学系リハビリテーション科学）

P2-35　回内筋伸張による皮質脊髄路の経時的興奮性変化

○塗木 ひかる、衛藤 誠二、河村 健太郎

鹿児島大学　医歯学総合研究科

P2-36　拡散型圧力波療法後に足クローヌスと腓腹筋筋弾性率が異なる経時的変化を認めた回復期脳卒中患者の一例

○佐藤 孝嗣[1]、水関 つむぎ[1]、田中 飛呂[1]、石田 正高[2]、井上 靖悟[1]、近藤 国嗣[2]

[1]東京湾岸リハビリテーション病院　リハビリテーション部、[2]東京湾岸リハビリテーション病院　リハビリテーション科

P2-37　末梢性顔面神経麻痺に対する発症後2ヶ月の表情筋ストレッチが後遺症の程度に与える影響

○森嶋 直人、真田 将太

豊橋市民病院リハビリテーションセンター

P2-38　標準ディサースリア検査（AMSD）と嚥下内視鏡検査による兵頭スコアの関連についての検討

○高橋 健祐[1]、代田 悠一郎[1,2]、小谷 理紗[1]、海永 光洋[1]、後藤 多嘉緒[3,4]、上羽 瑠美[3,4]、濱田 雅[1]

[1]東京大学医学部附属病院　脳神経内科、[2]同　検査部、[3]同　摂食嚥下センター、[4]同　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P2-39　MScan-Fit methodを用いた運動単位数推定による顔面神経麻痺患者の予後評価（第二報）

○北大路 隆正[1]、能登 祐一[1]、松岡 千紘[1]、辻 有希子[1]、二之湯 弦[2]、瀧 正勝[2,3]、平野 滋[2]、尾原 知行[1]

[1]京都府立医科大学大学院医学研究科　脳神経内科学、[2]京都府立医科大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、[3]京都市立病院　耳鼻いんこう科

P2-40　プラセボ・ノセボ期待が温冷同時刺激による感覚知覚に及ぼす影響

○松木 明好、小南 玲奈、中野 光祥、林 流成、福田 息吹、村上 塁士、山田 美優夢

四條畷学園大学リハビリテーション学部

P2-41　大腿四頭筋の等尺性収縮強度の違いが反対側の外側広筋に対応する脊髄前角細胞の興奮性変化に与える影響

○中山 一輝[1,2]、黒部 正孝[1,3]、鈴木 俊明[1]

[1]関西医療大学大学院　保健医療学研究科、[2]医療法人研医会　田辺中央病院　リハビリテーション科、[3]神戸リハビリテーション衛生専門学校　理学療法学科

P2-42　中枢性脳卒中後疼痛の安静時脳波活動の特性

○井川 祐樹[1,4]、佐々木 遼[4]、小林 篤生[1,2]、高村 優作[4]、南川 勇二[1,2]、内沢 秀和[1,2]、大住 倫弘[2,3,4]、生野 公貴[1,2]

[1]西大和リハビリテーション病院、[2]畿央大学大学院　健康科学研究科、[3]畿央大学健康イノベーション教育研究センター、[4]畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

P2-43　AI制御型筋電ロボットを用いた訓練が非利き手側での箸操作獲得に与える影響

○瀬尾 彩葉[1]、桐本 光[1]、車谷 洋[2]

[1]広島大学大学院　医系科学研究科　感覚運動神経科学教室、[2]名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻

一般演題（ポスター） 術中モニタリング（2）

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:42（ポスター会場）

座長：岩崎 真樹（国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科）

P2-44 胸部下行・胸腹部大動脈人工血管置換術における multi-train 刺激 運動誘発電位（MEP）モニタリングの有用性の検討

○油野 岳夫、中田 晶子、寺上 貴子、中出 祐介、松村 和起、森 三佳、金森 肇
金沢大学附属病院 検査部

P2-45 脳神経外科手術における MEP オート閾値テスト

○田中 聡[1]、田中 達也[2]、冨尾 亮介[3]、吉田 信介[4]、深作 和明[1]、水成 隆之[1]、郷原 敦史[5]、刈田 弘樹[6]、三木 俊一郎[6]、石川 栄一[6]
[1] 千葉徳洲会病院 脳神経外科、[2] 国際医療福祉大学 成田病院 脳神経外科、[3] 本庄脳神経外科・脊椎外科 脳神経外科、[4] 東京都立神経病院 脳神経外科、[5] 千葉徳洲会病院 検査科、[6] 筑波大学 医療医学系 脳神経外科

P2-46 小児麻痺後遺症例に合併した腰椎椎間板ヘルニアにおける術中モニタリング解釈の課題

○村上 友宏[1]、村上 孝徳[2]、入江 伸介[2]、斎藤 孝次[3]
[1] 社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 脊椎脊髄外科、[2] 社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 脳神経外科、[3] 社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科

P2-47 占拠率 50％以上の頚椎後縦靭帯骨化症術中 MEPs 低下と CT 画像の検討

○今城 靖明
JCHO 徳山中央病院

P2-48 Propensity score matching を用いた選択的頚椎椎弓形成術の治療成績の再検討

○藤本 和弘、舩場 真裕、今城 靖明、永尾 祐治、坂井 孝司
山口大学 医学部 整形外科

P2-49 Automated Neural Dosing for Fast-Acting Subperception Therapy（FAST）の初期使用経験

○東山 巨樹、田村 晋也、菅原 卓
秋田県立循環器・脳脊髄センター 脊髄脊椎外科

P2-50 低反応レベルレーザー照射療法は膀胱炎モデルラットの蓄尿障害を改善する

○内山 智之[1,2,3]、山本 達也[4,6]、榊原 隆次[5,6]、村井 弘之[1,3]
[1] 国際医療福祉大学 医学部 脳神経内科、[2] 国際医療福祉大学塩谷病院 脳神経内科、[3] 国際医療福祉大学成田病院 脳神経内科、[4] 千葉県立保健医療大学リハビリテーション学科作業療法学専攻、[5] 神経内科津田沼、[6] 千葉大学 医学部 脳神経内科

一般演題（ポスター） 運動ニューロン疾患・脊髄疾患・神経筋接合部・筋疾患

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:36（ポスター会場）

座長：叶内 匡（東京科学大学 全人的医療開発学講座 臨床検査医学分野）

P2-51 近位型頚椎症性筋萎縮症 27 例の臨床的および神経生理学的特徴

○宮本 詩子[1,2]、西村 康平[2]、松永 拓也[2]、寺本 靖之[2]、岩永 書朋[2]、渡邉 進[1]
[1] 熊本機能病院 脳神経内科・リハビリテーション科、[2] 熊本機能病院 神経生理センター

P2-52　筋萎縮性側索硬化症における腹直筋厚評価の意義―横隔膜超音波の代替指標となりうるか―

○森島 亮[1]、木田 耕太[1]、木村 英紀[1]、川添 僚也[1]、清水 崇宏[1]、篠塚 一摩[2]、小池 清美[2]、石澤 圭介[2]、清水 俊夫[3]、中山 優季[4]、高橋 一司[1]

[1]東京都立神経病院　脳神経内科、[2]東京都立神経病院　検査科、[3]東大和病院　脳神経内科、[4]東京都医学総合研究所　難病ケア看護ユニット

P2-53　ALS 患者の症状発症部位別 split finger, weak shoulder 陽性率

○寺澤 由佳[1]、佐藤 達哉[1]、佐藤 恒太[1]、黒川 勝己[2]、園生 雅弘[3]

[1]脳神経センター　大田記念病院　脳神経内科、[2]川崎医科大学　総合医療センター　総合内科 1、[3]帝京大学医療技術学部　視能矯正学科

P2-54　妊娠中にリトドリン塩酸塩投与後の高ＣＫ血症を契機に診断された筋強直性ジストロフィーの 2 例

○加藤 秀紀、浦田 真優、宮武 仁志、奥田 佳介、青木 聡大、小栗 卓也、湯浅 浩之

公立陶生病院

P2-55　当院における閾値追跡経頭蓋磁気刺激法を使用した筋萎縮性側索硬化症（ALS）の皮質過興奮性の測定と臨床パラメーターとの関係

○辻 有希子、松岡 千紘、北大路 隆正、能登 祐一、尾原 知行

京都府立医科大学大学院　医学研究科　脳神経内科学

P2-56　筋萎縮性側索硬化症における運動負荷前後の低頻度反復刺激試験の減衰率の変化と進行速度との関連についての検討

◯山川 勇、田村 亮太、塚本 剛士、矢端 博行、小橋 修平、玉木 良高、小川 暢弘、漆谷 真

滋賀医科大学　脳神経内科学講座

一般演題（ポスター）　末梢神経・筋疾患

11 月 13 日（金）　17:00 ～ 17:54（ポスター会場）

座長：岩田 信恵（国際医療福祉大学三田病院 脳神経内科）

P2-57　ギラン・バレー症候群患者の神経伝導検査所見と snRNP 抗体との関係

○清水 文崇[1]、大石 真莉子[1]、西岡 光昭[2]、大田 勇[2]、鉄田 有希乃[2]、児玉 雅季[2]、中森 雅之[1]

[1]山口大学大学院　医学系研究科　臨床神経学、[2]山口大学医学部附属病院　検査部

P2-58　初診時ギラン・バレー症候群との鑑別が困難であった慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の臨床的・電気生理学的特徴の検討

○石井 淳子、近藤 圭一郎、槌田 健太、島田 遥生、春名 孝太郎、尾原 信行、吉村 元、幸原 伸夫、川本 未知

神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

P2-59　前腕部の混合神経における Multifocal CIDP の運動・感覚神経障害の特徴

○青山 尚史[1,2]、赤座 実穂[1,3]、大谷 泰[1]、叶内 匡[1,2]、三澤 園子[1]

[1]東京科学大学　脳神経病態学分野、[2]東京科学大学病院　検査部、[3]東京科学大学　生命情報応用学分野

P2-60　CIDP を模倣した悪性リンパ腫の 2 例：電気診断上のピットフォール

○津川 潤、高橋 信敬、立石 雄嗣、井上 賢一、藤岡 秀康、中村 大斗、栗原 可南子、緒方 利安、馬場 康彦

福岡大学　医学部　脳神経内科

P2-61　COVID-19 パンデミック前後における Fisher 症候群スペクトラムの臨床的および電気生理学的特徴

○十川 和樹[1]、中尾 遼平[1]、谷 美紀[1]、花田 健太[1]、福本 竜也[1]、山本 雄貴[1]、山崎 博輝[1]、大崎 裕亮[2]、高松 直子[1]、山本 伸昭[1]、佐藤 健太[2]、森岡 久尚[3]、松井 尚子[1]、和泉 唯信[1]

[1] 徳島大学大学院　医歯薬学研究部　臨床神経科学分野、[2] 徳島県立中央病院　脳神経内科、[3] 徳島大学大学院　医歯薬学研究部　公衆衛生学分野

P2-62　血管炎性ニューロパチーの治療開始時期と長期予後に関する検討

○伊利 孝宣、森島 亮、木田 耕太、川添 僚也、木村 英紀、高橋 一司

東京都立神経病院　脳神経内科

P2-63　当院で経験した MAG ニューロパチーの臨床・電気生理学的特徴

○上田 真之[1]、中山 貴博[2]、佐々木 拓也[1]

[1] 横浜労災病院　脳神経内科、[2] 横浜労災病院　神経筋疾患部

P2-64　抗 MAG 抗体陽性ニューロパチーの筋電図所見に関しての検討

○川村 玲衣奈[1]、祢津 静花[2]、富樫 淳[1]、水間 敦士[1]、小原 さおり[1]、安部 貴人[1]、永田 栄一郎[1]

[1] 東海大学　医学部　脳神経内科、[2] 伊勢原駅前クリニック

P2-65　外傷・手術後に免疫介在性脱髄性ニューロパチーを発症した 2 例

○槌田 健太、石井 淳子、幸原 伸夫、近藤 圭一郎、島田 遥生、前田 周吾、野村 倫子、太田 和馬、吉村 元、川本 未知

神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

一般演題（ポスター）　末梢神経疾患（3）

11 月 13 日（金）　17:00 ～ 17:36（ポスター会場）

座長：中森 正博（広島大学病院 脳神経内科）

P2-66　Blink reflex で異常を検出した三叉神経炎の 2 症例

○松本 英之[1]、山田 一貴[1]、太田 祐輔[1]、倉島 葵[1]、濱田 健介[1]、尼崎 賢一[2]、内尾 直裕[1]

[1] 三井記念病院　脳神経内科、[2] 三井記念病院　脳神経外科

P2-67　破傷風の嚥下障害からの回復判定に Blink reflex 二重刺激の回復曲線が役立つと考えられた 1 症例

○安藤 知秀[1,2]、川上 大裕[1]、吉野 俊平[1]、下畑 享良[2]、幸原 伸夫[3]

[1] 株式会社　麻生　飯塚病院、[2] 岐阜大学医学部脳神経内科、[3] 神戸市立医療センター中央市民病院

P2-68　神経筋電気診断学が高位診断の一助になった脊髄空洞症の 47 歳女性例

○河野 優[1]、衣袋 桃代[1]、去川 裕基[1]、高橋 麻葵[1]、佐野 透[2]

[1] 富士市立中央病院　脳神経内科、[2] 富士市立中央病院　脳神経外科

P2-69　顔面筋障害で発症しミオパチーが疑われた Tangier 病の 1 例 ―神経生理学的検討―

○山形 怜史[1]、林 俊行[1]、深澤 美樹[1]、古寺 紘人[1]、中島 泰[2]、須田 智[1]

[1] 日本医科大学付属病院　脳神経内科、[2] 日本医科大学付属病院　糖尿病・内分泌代謝内科

P2-70　運動後の四肢の動かしづらさに対して Exercise test が有用であった 1 例
○細谷 愛、飯嶋 睦、森本 伶美、池口 亮太郎、藤堂 謙一
東京女子医科大学病院　脳神経内科

P2-71　成人移行を契機に診断に至った *NKX2-1* 関連疾患の一例
○高木 あかり、瀬川 義明、吉村 賢二、森畑 宏一、三枝 隆博
大阪市立総合医療センター　脳神経内科

一般演題（ポスター）　末梢神経疾患（4）

11 月 13 日（金）　17:00 ～ 17:42（ポスター会場）

座長：田中 理（横浜市立脳卒中神経脊椎センター 検査部）

P2-72　反復神経刺激試験で異常減衰を認めた急性運動感覚ニューロパチーの 1 例
○山本 大輔[1]、曽根 圭太郎[1,2]、舩越 匠[1]、中村 理奈[1,2]、水越 誉久[1]、山本 晃匡[1]
[1] 砂川市立病院　脳神経内科、[2] 札幌医科大学　内科学講座　神経内科学分野

P2-73　CIDP 維持治療に対してエフガルチギモド皮下注射を選択し神経伝導検査の経時的改善を認めた一例
○大森 直樹[1]、杉原 辰哉[2]、田部井 寛[1]、青木 慶仁[3]、金井 由貴枝[1]、岩佐 憲一[1]、有竹 洵[3]、田中 智貴[1]、長井 篤[1]
[1] 島根大学　医学部　脳神経内科、[2] 島根大学医学部附属病院　検査部、[3] 島根大学医学部附属病院　高度脳卒中センター

P2-74　インフルエンザ B 型罹患後に急速進行性の上肢遠位筋筋力低下を呈したギラン・バレー症候群の 1 例
○道下 裕子[1,2]、石井 淳子[1]、細木 聡[1,3]、幸原 伸夫[1]、川本 未知[1]
[1] 神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科、[2] 聖隷浜松病院　脳神経内科、[3] 国立循環器病研究センター脳神経内科

P2-75　重度な感覚性失調と自律神経障害を来したシェーグレン症候群の一例
○高橋 佑[1,2]、国分 則人[1]、土屋 智裕[1,3]、濱口 眞衣[1]、加藤 一史[1]、松田 葉月[4]、鈴木 圭輔[1]
[1] 獨協医科大学病院　脳神経内科、[2] 足利赤十字病院　脳神経内科、[3] 獨協医科大学日光医療センター　脳神経内科、[4] 獨協医科大学病院　病理診断科

P2-76　感覚障害で発症したギラン・バレー症候群の電気生理学的検討：症例報告
○田中 理[1]、城野 誉士[2]、高橋 幸治[1]、森田 合莉[1]、奥田 夏菜[1]、内田 愛子[1]、久保 陽平[1]、城倉 健[2]
[1] 横浜市立脳卒中神経脊椎センター　検査部、[2] 横浜市立脳卒中神経脊椎センター　脳神経内科

P2-77　神経伝導検査の経時的変化を捉えることができた MFS/PCB variant GBS の 1 例
○杉原 辰哉[1]、古川 翔太[1]、小松 文香[1]、安井 亘[1]、岡崎 亮太[1]、青木 慶仁[2]、矢野 彰三[1]、長井 篤[2]
[1] 島根大学医学部附属病院　検査部、[2] 島根大学医学部附属病院　脳神経内科

P2-78　妊娠 33 週での RS ウイルスワクチン接種後に発症した妊婦 Guillain-Barré 症候群
○近藤 圭一郎[1]、太田 和馬[1]、幸原 伸夫[1]、木山 珠希[2]、大竹 紀子[2]、瀬尾 龍太郎[3]、前田 達也[1]、石井 淳子[1]、吉村 元[1]、川本 未知[1]
[1] 神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科、[2] 神戸市立医療センター中央市民病院　産婦人科、[3] 神戸市立医療センター中央市民病院　救命救急センター

English Poster Session EN

17:00 ～ 17:24, November 13 (Fri.) (Poster Room)

Chair：Shunsuke Kobayashi (Department of Neurology, Teikyo University)

EP-02 Paretic Limb–Predominant Gout Flares After Stroke Associated with Autonomic Dysfunction

○ Kiattiphum Jaturavanich[1]、Pongsathorn Klinkachorn[2]、Kanon Jatuworapruk[2]、Sophapun Ekarattanawong[1]

[1] Faculty of Medicine, Thammasat University, Pathum Thani, Thailand、[2] Department of Internal Medicine, Thammasat University Hospital, Pathum Thani, Thailand

EP-03 Long-term follow up of a patient with MPV17-related hepatocerebral mitochondrial DNA depletion syndrome (MTDPS)

○ HARUKO NAKAMURA[1]、Shiori Asano[1]、Yosuke Miyaji[1,2]、Hiroshi Doi[1]

[1]Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[2]Department of Neurology, Teikyo University Hospital Mizonokuchi

EP-04 EEG Changes Following Fenfluramine Treatment in Adults with Lennox-Gastaut Syndrome

○ Mutsuki Takeda[1]、Yu Kitazawa[1]、Masaki Sonoda[2]、Keisuke Morihara[1]、Yousuke Miyaji[1]、Yuichi Higashiyama[1]、Katsuo Kimura[3]、Naohisa Ueda[3]、Fumiaki Tanaka[1]、Hiroshi Doi[1]

[1]Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[2]Department of Neurosurgery, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[3]Department of Neurology, Yokohama City University Medical Center

EP-05 Exploring Reference Configurations for Alpha Detection in Two-Channel In-Ear EEG

○ Yu Kitazawa[1,2]、Mutsuki Takeda[1]、Ryota Abe[1]、Naoya Uragami[1]、Noriaki Takeda[2]、Keisuke Morihara[1]、Yosuke Miyaji[1]、Yuichi Higashiyama[1]、Katsuo Kimura[3]、Naohisa Ueda[3]、Fumiaki Tanaka[1]、Hiroshi Doi[1]

[1]Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[2]Department of Clinical Laboratory, Yokohama City University Hospital、[3] Department of Neurology, Yokohama City University Medical Center